
漫画
桜間ハルオミ
メイドたちの性事情
The maids, Sex situation
～男子禁制の屋敷でメイドとして働くことになった僕ですが、
気えたメイド達にバレて搾り取られ続けるエッチ生活が始まりました～
R18
成人向け
FOR ADULT ONLY
18歳未満の
購入・閲覧禁止
りぶれぼコミック

僕の名前はフランツ
元々孤児だった僕は
とあるお屋敷で住み込みで
働くことになった

しかも…
女装した
メイドとして…

それだけでも
信じられない
ことなのに…

あっう…

僕はそれ以上に
とんでもない状況に
おかれている

ショタメイドの
チンポを
お・掃・除♪

お・掃・除♪
お・掃・除♪

ズチェ

ぬちゃ

ズプッ♥

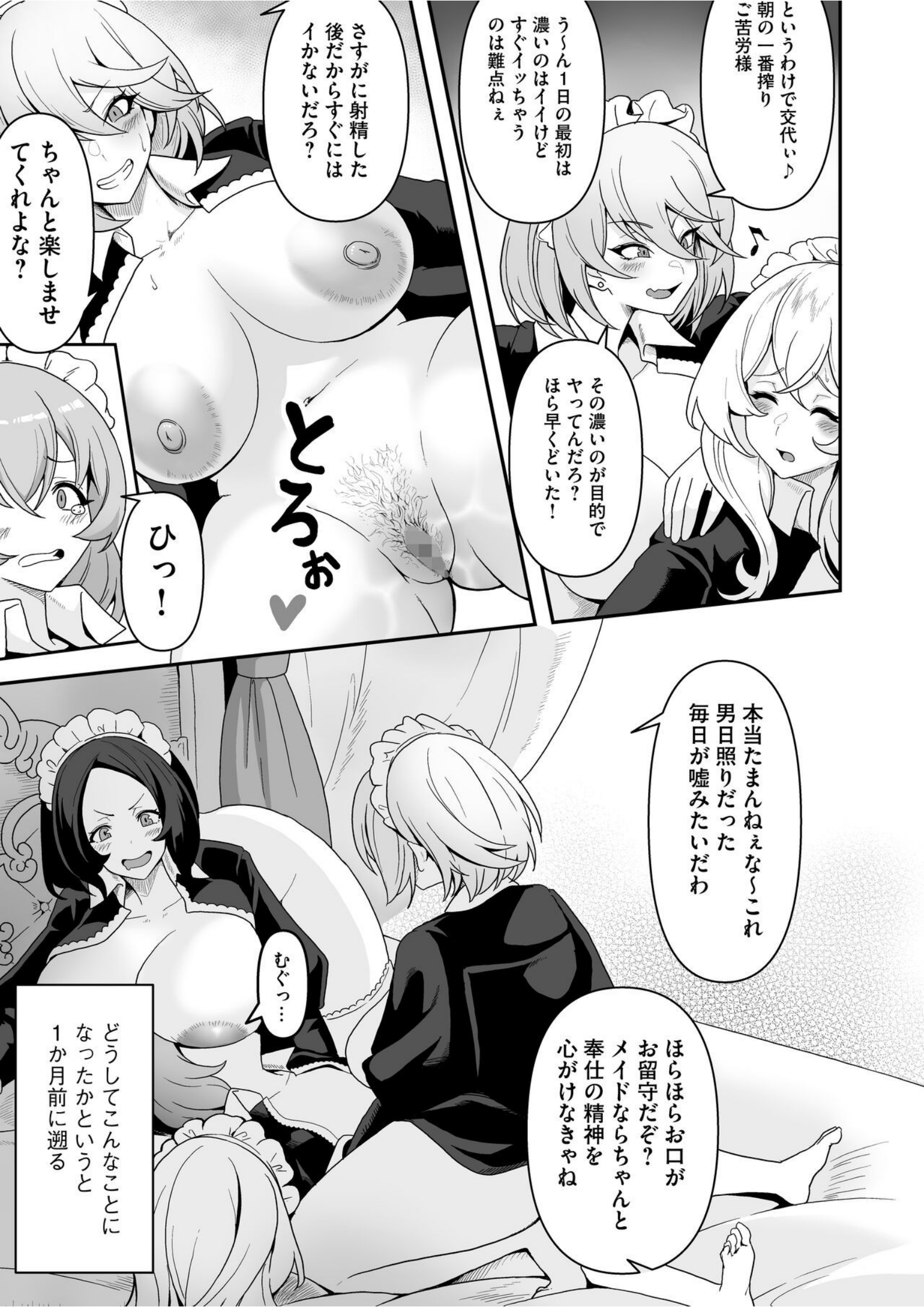
ジュプ

あ♥

溜まった白い汚れは
しっかり膣内で
こすって
搾り出しましょう～♪

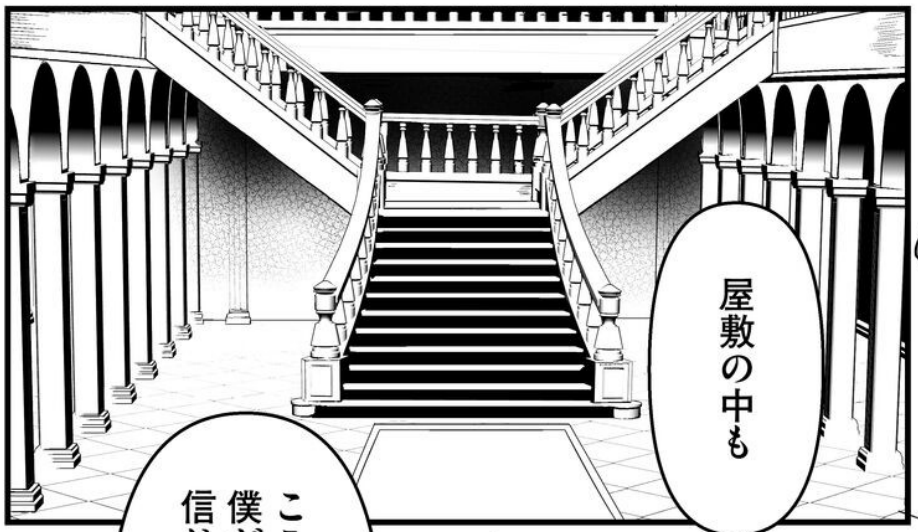
ああっうっ


ほらほら今日の一発目なんだからさっさと出せって！
もしかして昨日はピュッピュッしすぎたかぁ？
アハハ♪知ってるくせにそんなこと聞くう？
あん♥あっ射精てるぅまだまだ続けたいのにい
ビクン
ビクン
こん…なのダメですよ！奥様のベッドの上でなんてバレたら怒られちゃいます！
いいんだよ元々シーツ替えにきたんだから
そもそも奥様はあんたが男であることすら気づいてないんだからバレっこないって！
びゅるびゅる
ビュルッ♥


というわけで交代ぃ♪
朝の一番搾り
ご苦労様
う~ん1日の最初は
濃いのはイイけど
すぐイッちゃう
のは難点ねぇ
その濃いのが目的で
ヤってんだろ？
ほら早くどいた！
さすがに射精した
後だからすぐには
イかないだろ？
ちゃんと楽しませ
てくれよな？
とろぉ♥
ひっ！
本当たまんねぇな~これ
男日照りだった
毎日が嘘みたいだわ
ほらほらお口が
お留守だぞ？
メイドならちゃんと
奉仕の精神を
心がけなきゃね
むぐっ…
どうしてこんなことに
なったかというと
1か月前に遡る


庭も…


わぁ…！
本当に大きなお屋敷


屋敷の中も


ここが今日から
僕が働くとこなんて
信じられないや
仕事場でもあるし
あなたが
住む場所でもあるわ
ここのメイドは
全員住み込みだから
スッ!!
クローネさん

新しい生活は
色々大変だろうけど
困ったことがあったら
気にせず頼ってね？

ひとつ屋根の下で
暮らすんだもの
ここはあなたの
職場でお家

この綺麗な人は
ここの屋敷で働く
メイド長のクローネさん

そして私や
他のメイドは
家族のようなものよ

孤児院で暮らす僕を
引き取って
くれたらしい

あ あの僕なんかで
できるんでしょうか？

大丈夫よ仕事は
これから覚えて
いけばいいわ

少し前から何度か
孤児院にも来て
院長ともよくお話してるのは
見かけてたけど

昨日ついに僕を
引き取りたいと
手続きに来た

でもこんな立派な
お屋敷の人が
どうして孤児の
僕なんかを
欲しがったのだろう？


じゃあ
さっそく制服に
着替えて
もらいましょうか




着方が分から
なかったら
聞いてちょうだいね
ありがとう
ございます…！
すごい…制服なんて
お屋敷で働くってことは
フットマン？
ってやつになるのかな
まさか僕がこんな
カッコいい仕事に
つけるなんて夢みたいだ


あれ？
なんだろうこの服
やたらとレースの
飾りがついてる
みたいだけど


ちょ…
もしかしてこれって
スカート!?

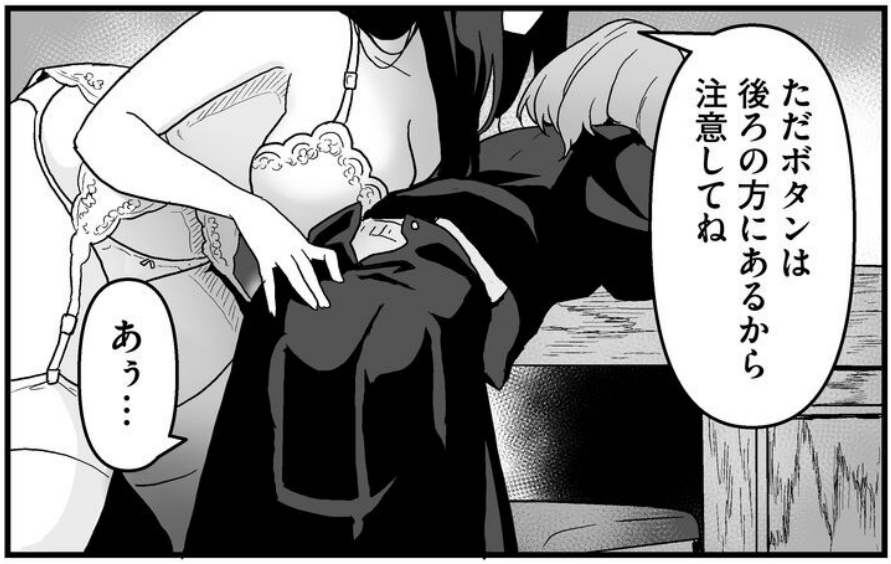

！


あのクローネさん
これって
女の人用の…
！
わわ!!
どうしたの？

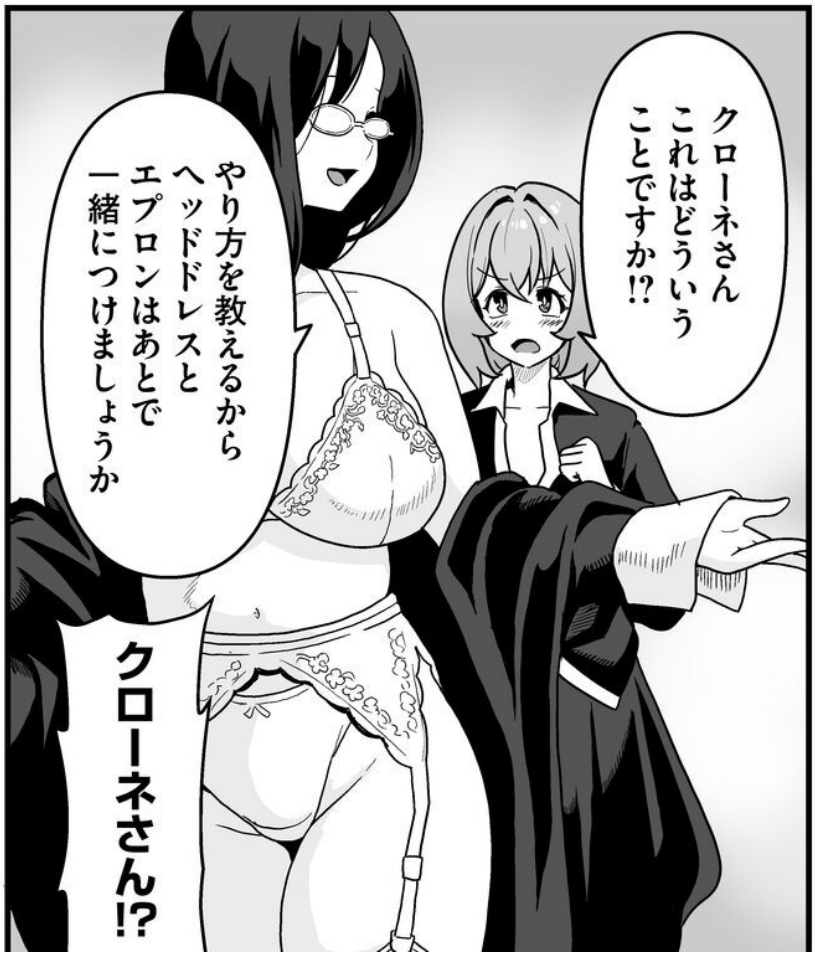

これ スカート…
というかなんで
脱いでるんですか!?
そりゃあ私も
着替えなきゃ
いけないんだし
当然でしょう？
あと制服はそれで
合ってるわ
あなたは今日から
それを着て働くの
え？そんな…
こんなの着れませんよ
どういうことですか

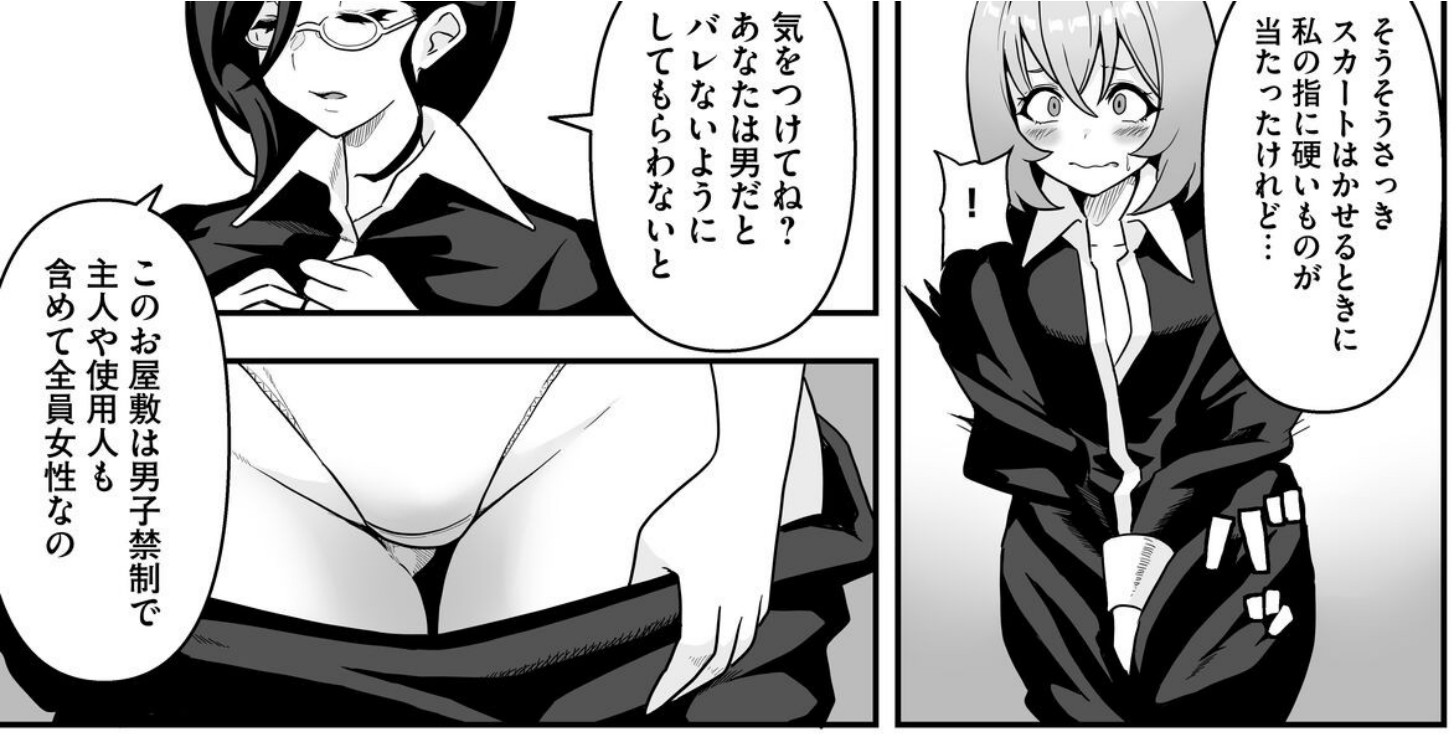

時間がないんだから
あまり手間を
かけさせないで
グイッ
グイッ
うわ！
クローネさん!?


ちょ…わぁ！
こら暴れないの！
カリッ
うちの制服は
セパレートタイプだし
初めてでも着やすいはずよ
形の変わった
ズボンみたいな
ものと思えばいいわ


ただボタンは
後ろの方にあるから
注意してね
あぅ…


よし…と
次からは自分で
つけるのよ？
やっぱりよく似合うわ
私の目に狂いは
なかったみたいね

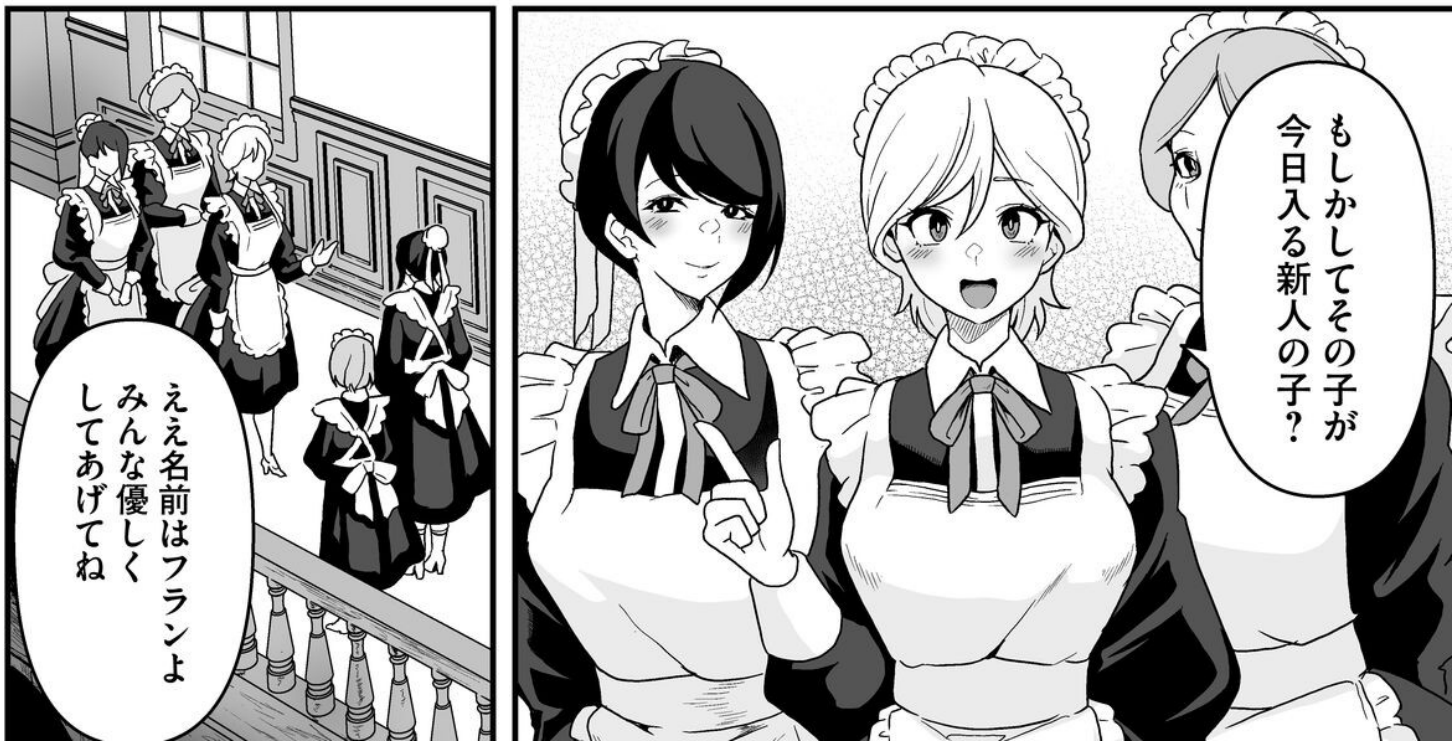

クローネさん
これはどういう
ことですか!?
やり方を教えるから
ヘッドドレスと
エプロンはあとで
一緒につけましょうか
クローネさん!?


そうそうさっき
スカートはかせるときに
私の指に硬いものが
当たったけれど…
！
気をつけてね？
あなたは男だと
バレないように
してもらわないと
このお屋敷は男子禁制で
主人や使用人も
含めて全員女性なの


お屋敷の元々の旦那様は
あまり褒められた
人ではなくてね
お酒・女遊び・暴力…
さんざん不摂生を
繰り返した挙句
早くに亡くなったわ
家業を引き継いだ奥様は
すぐに頭角を現して
家業は大きくなったけど
旦那様への恨みは
相当深かったみたい
極度の男性嫌いになって
男の使用人も追い出して
女だけのお屋敷の出来上がり


おかげで陰では「女帝の館」
なんて呼ばれてるみたい
そういうわけで
ここで働いてるあなたは
今日から女の子
名前はフランツの
ままだといけないから
――そうね
フランにしようかしら
よろしくね
フラン？
なんだか…
とんでもないことに
なってしまった

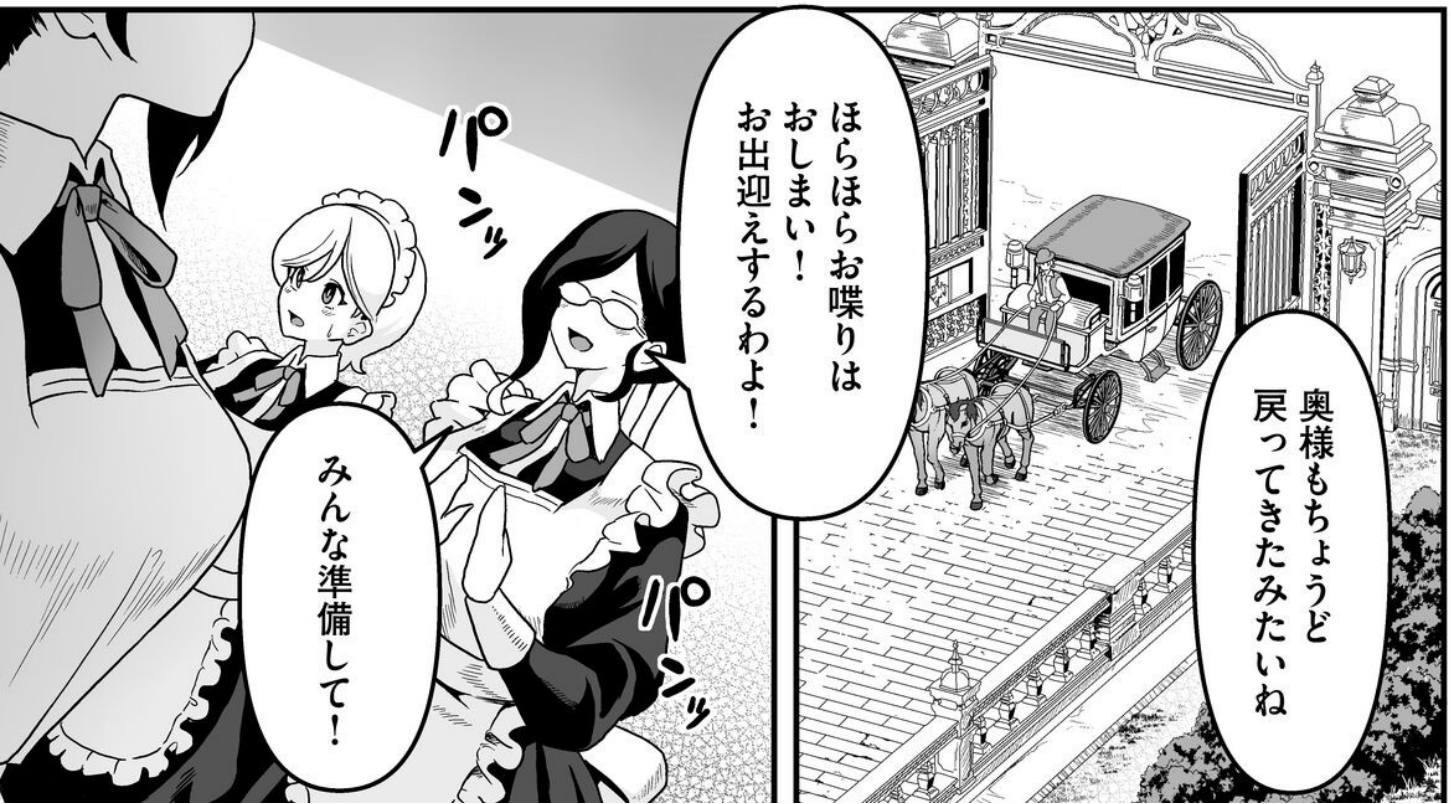

これで完成ね
あぁの本当に…
大丈夫よ！
こんな可愛いんだから
誰も男の子だなんて
気づくわけないじゃない
じゃあ改めて
ようこそ「女帝の館」へ
っと…さすがにまずいか
ふふ♪
秘密よ？
ガチャ
あー！


もしかしてその子が
今日入る新人の子？
ええ名前はフランよ
みんな優しく
してあげてね

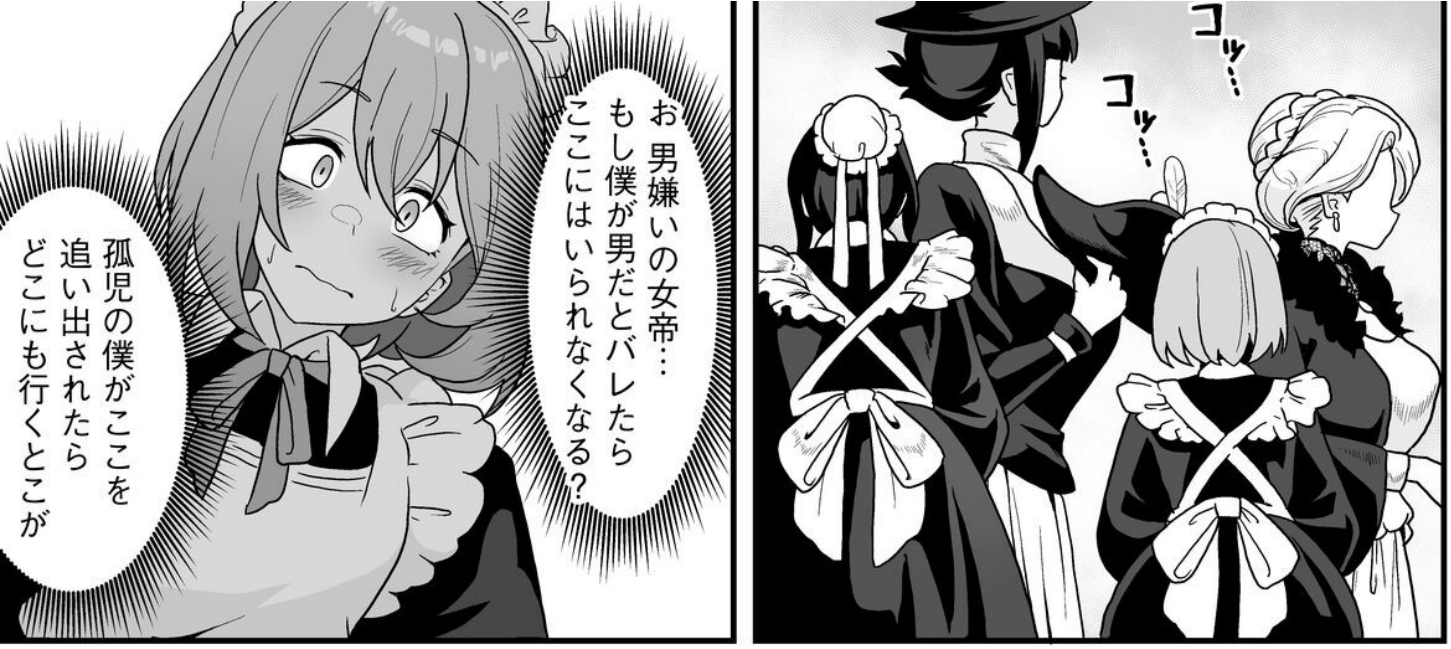

いやーん可愛い!!
私こんな妹
ほしかったのー!
ぎゅ♡
わわ!
ちょっとー
怖がってるから
やめなよ

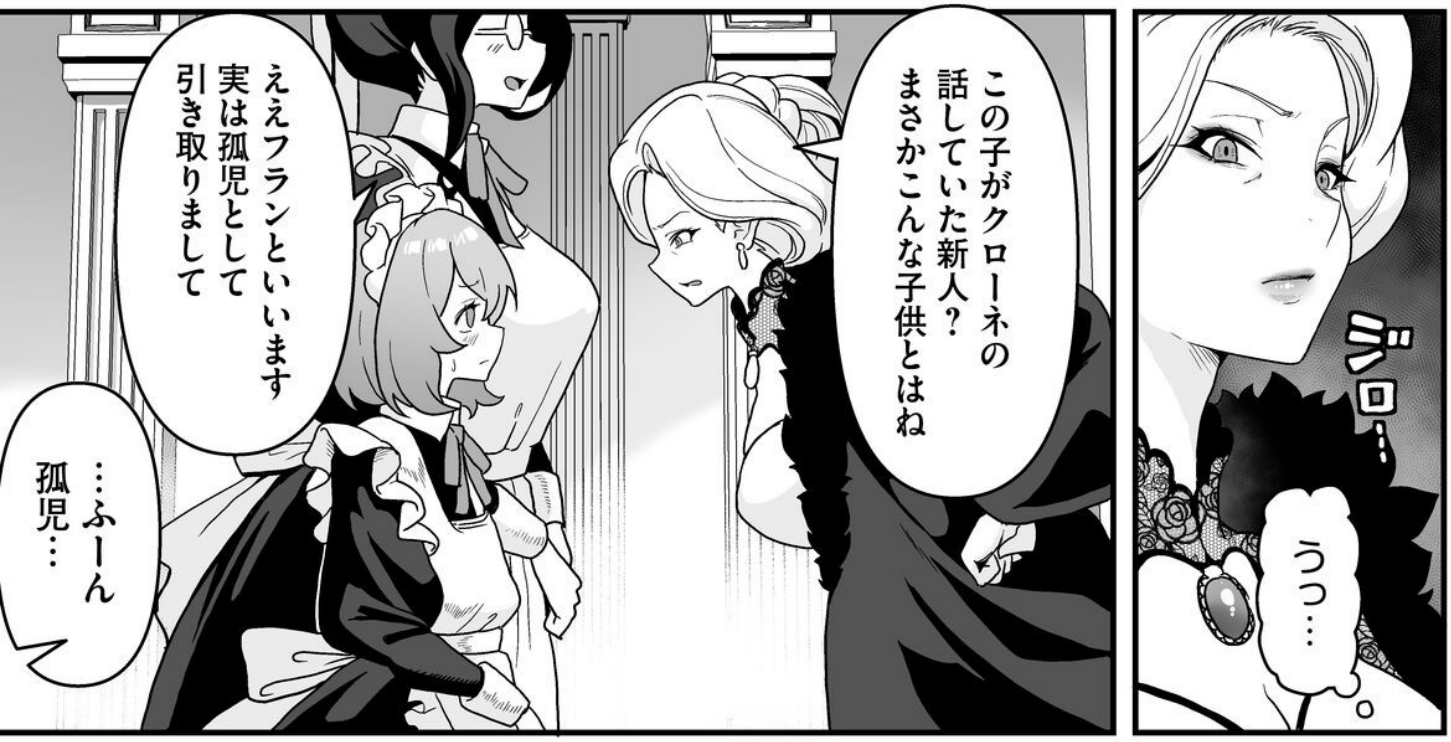

!


どこから
来たの?
そっかぁ孤児なんだ
本当に私の妹
になっちゃう?
歳は?
あ~ん
羨ましい~
よかったバレる
心配はないみたい
ちょっと複雑だけど…

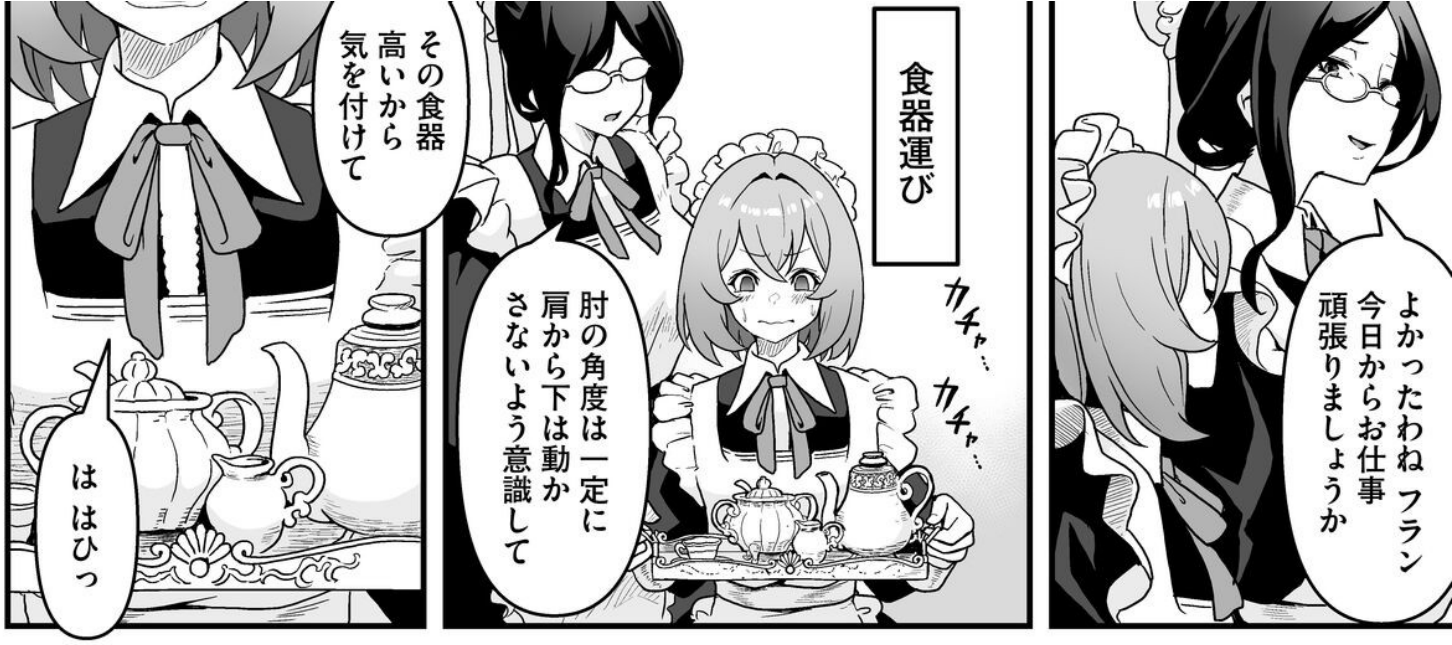

奥様もちょうど
戻ってきたみたいね
ほらほらお喋りは
おしまい!
お出迎えするわよ!
パンッ
パンッ
みんな準備して!


大丈夫
私たちの真似して
お辞儀をすれば
いいわ
はいはい！
おかえり
なさいませ！
カツ
お おかえり
なさいませ
わぁ予想は
してたけど
怖そうな人だなぁ

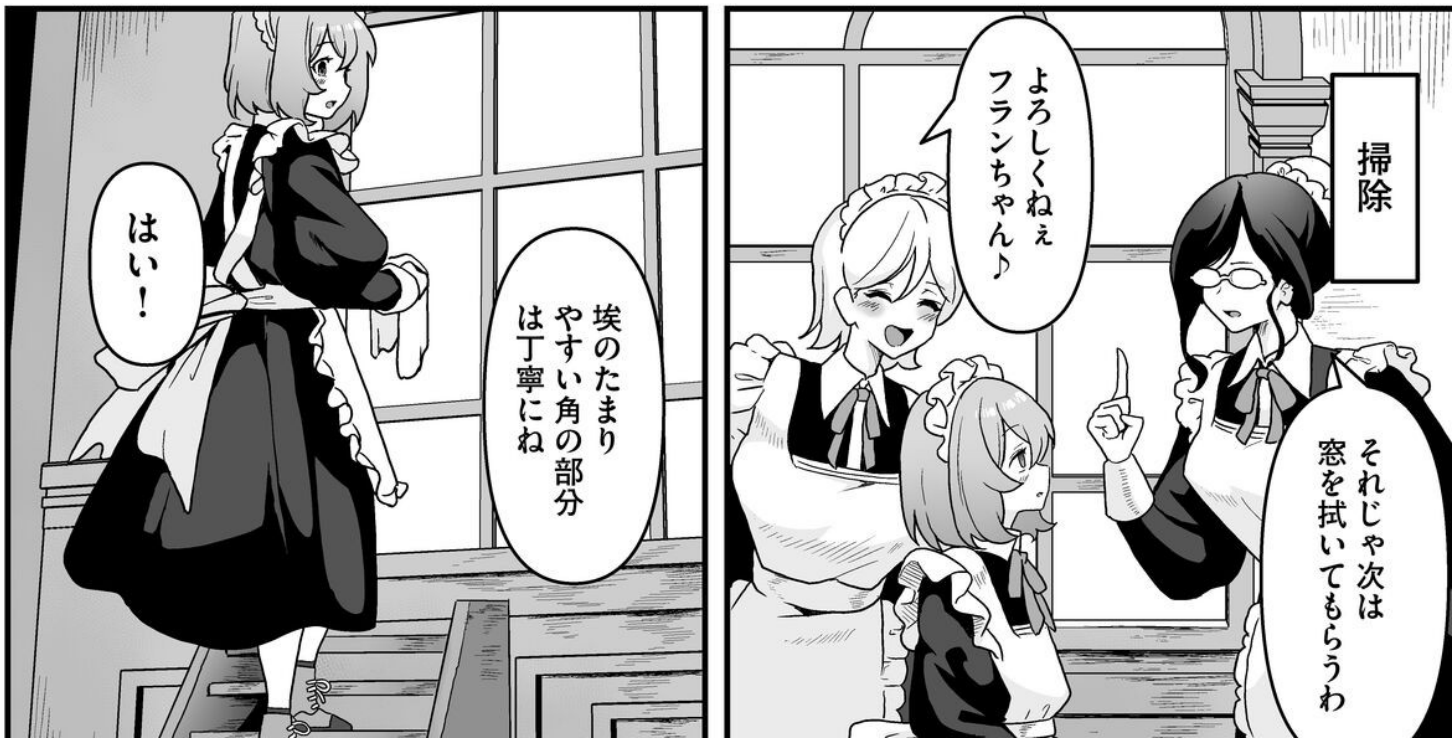

コツ…
コツ…
お男嫌いの女帝…
もし僕が男だとバレたら
ここにはいられなくなる?
孤児の僕がここを
追い出されたら
どこにも行くとこが


ジロ…
うっ…
この子がクローネの
話していた新人?
まさかこんな子供とはね
ええフランといいます
実は孤児として
引き取りまして
…ふーん
孤児…


まぁいいわ
屋敷のことは全て貴女に
任せると言ったからね
また仕事が忙しく
なりそうでね
あまり他のことで
手は煩わせたくないの
ちゃんと使いものに
なるように
教育お願いね?
ええ
かしこまりました


よかったわねフラン
今日からお仕事
頑張りましょうか
食器運び
カチャ…
カチャ…
肘の角度は一定に
肩から下は動か
さないよう意識して
その食器
高いから
気を付けて
ははひっ


食器磨き
銀食器は変色
しやすいからこまめな
お手入れが大事よ
でも丁寧さだけでなく
スピードとの
両立も意識すること
…うん
良いでしょう
まだまだあるから
次はこれね
うげ…！


掃除
よろしくねぇ
フランちゃん♪
それじゃ次は
窓を拭いてもらうわ
はい！
埃のたまり
やすい角の部分
は丁寧にね


おっ♪
新入りメイドちゃんは
どんな下着
はいてるのかなぁ？
スス…
――！


ダメ
やめて
ください！


ぺちゃ
つるっ
ヤラン！
…あ
わあぁっ！


ゴメン！
フランちゃん！
大丈夫!?


まったく高所作業では
ふざけないようにって
いつも言ってるでしょ？
登り台程度の高さでも
大怪我すること
だってあるんだから
はい
すいません…

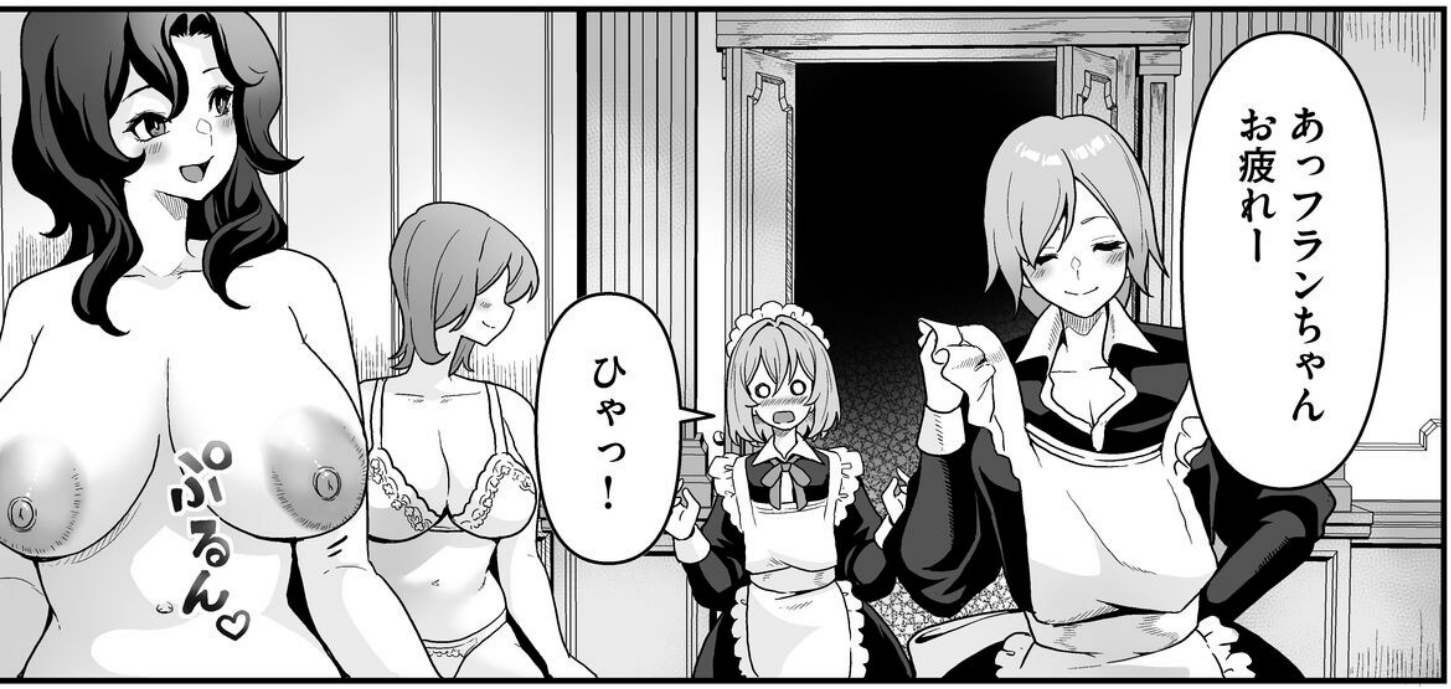

ふぅ…ようやく終わった
まさかこんなに
メイドの仕事が
大変だったなんて
まぁ僕が
慣れてないのも
あるんだろうけど


広くて綺麗な庭だなあ
こんなところでずっと
働けたら素敵だろうけど
でもこの先も
女の子のふり続けるの？
何年先も？
想像もつかないや


おーいたいたフラン！
こんなところで
休んでたのかよ


あ…えっと
リルギットだ
来た初日で
疲れてるだろ
風呂に行こうぜ


え…お風呂ってぼ…私一人で入れます！
使用人が1人でゆっくり風呂に浸かれるわけねぇだろ？
この屋敷に何人メイドがいると思ってんだよ
バンッ
ういーっす新人ちゃん連れてきたよっと！


あっフランちゃんお疲れー
ひゃっ！
ぷるん♡


どどうしようチンチンが…大きくなっちゃった
というか脱いだらどっちにしろ男だってバレちゃう
これ絶体絶命なのでは…？


どした～？
縮こまって
いえ…
大きく
なってます
そっかフランくらいの
年だと女同士でも
恥ずかしいかあ
その年だとちょうど
お股に毛が生えはじめる
頃だもんなあ？
ちょっとリル～？
新人にセクハラ
はやめな？
なにおう！
股に毛が生えるのは
自然なことだろうが

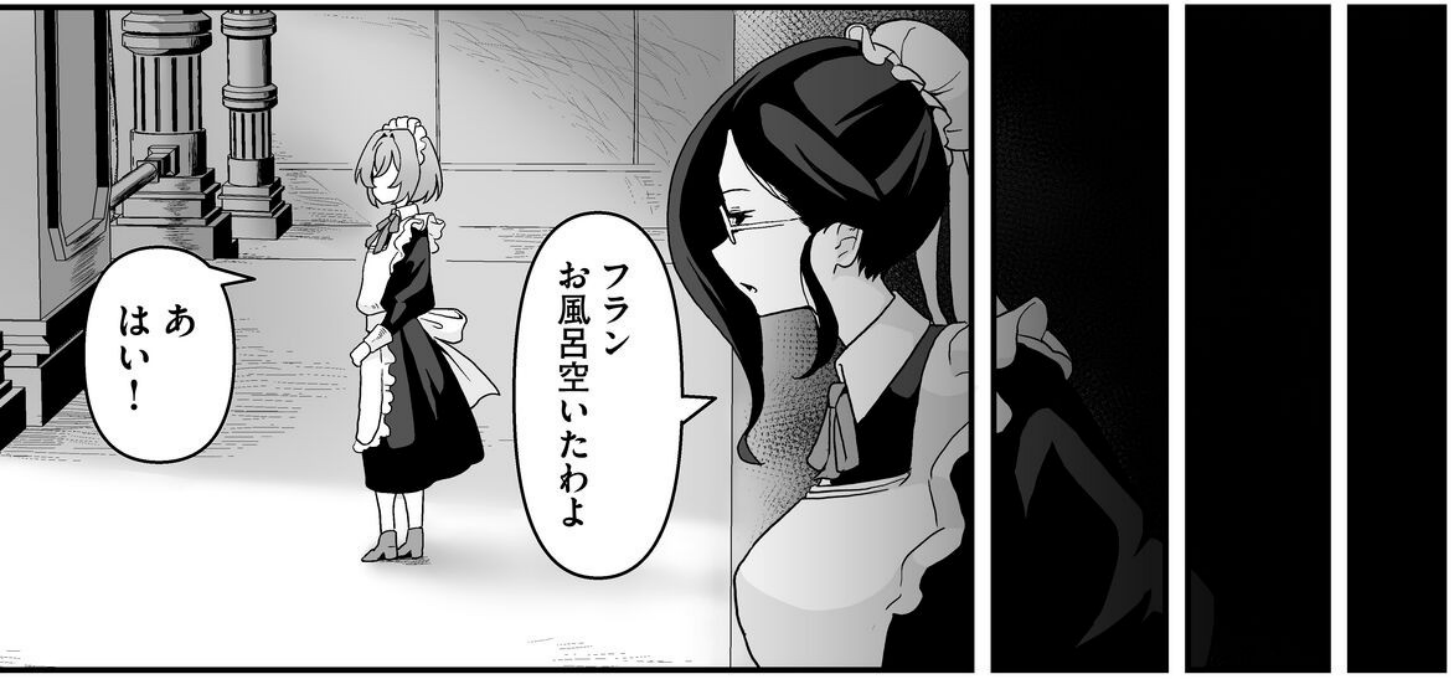

よしよしお姉さんが
脱がしちゃる
こういうのはガバっと
脱げば案外
恥ずかしくないんだよ
わわ！
ちょっと!!


ごめんねぇ
フランちゃん
わき
わき
でも脱がないと
いつまでもお風呂
入れないでしょ？


ああ…もうダメだ
バレちゃう…
まさかこの生活が
一日で終わってしまうなんて
す…


はいはい
そこまでよ
クローネ!?
なんで
邪魔すんだよ
まあ恥ずかしいなら
仕方ないわよ
この子とは私が
あとで一緒に入るわ

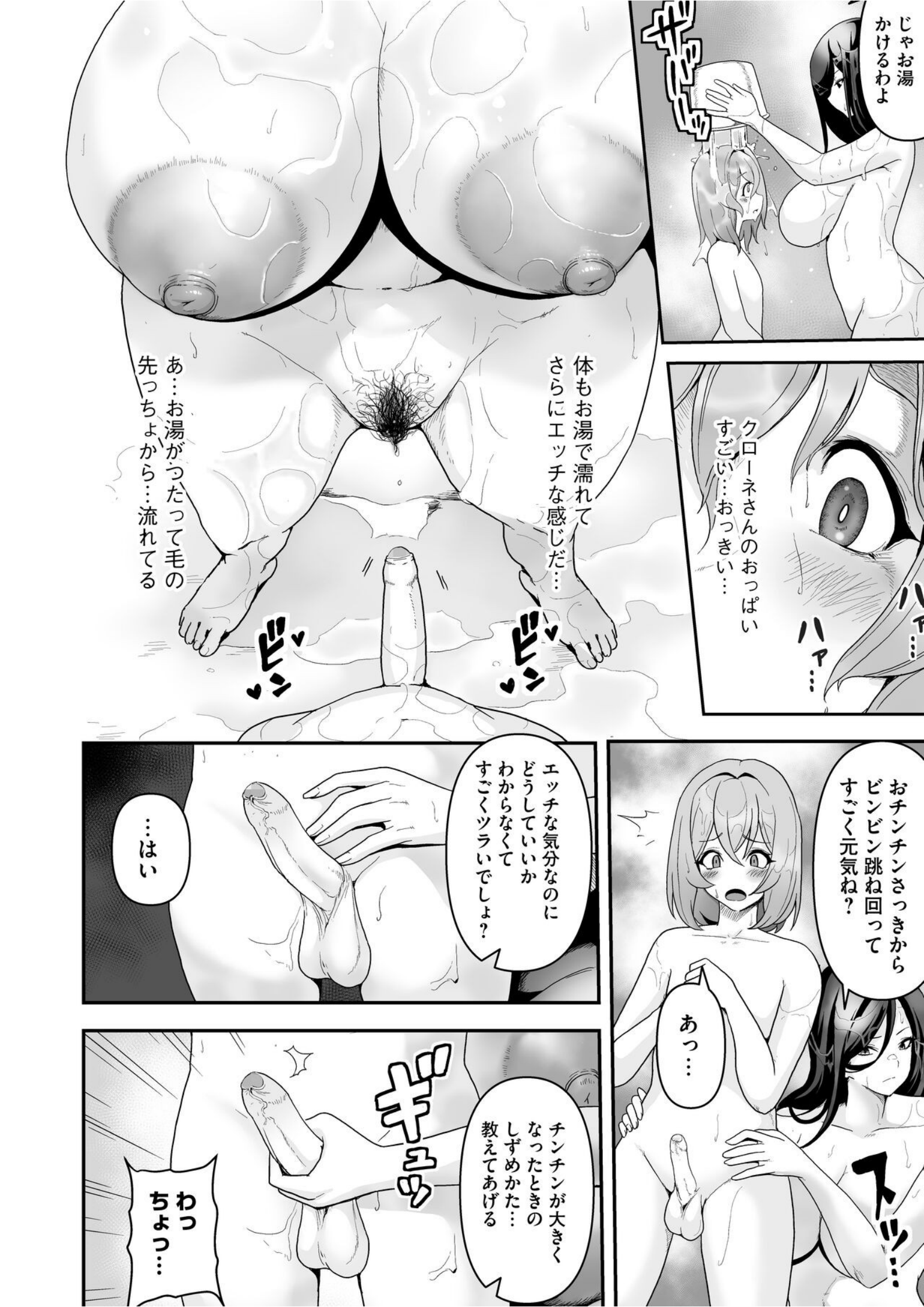

クローネさん…
すごいや…
昼間のときといいピンチなときは助けてくれるんだ
それに初日だし
大人数で入るよりは
フランもゆっくりできていいでしょ
なんだよ～
メイド長権限ってやつ？
ズルいよな～


フラン
お風呂空いたわよ
あ
はい！


あの…
ありがとう
ございました
何が？
えと…
昼間のこととか
しゅる…
…さっきの
…こととか


当然よ
女の子として
この屋敷に招いた
のは私だもの
今日はどうだった？
慣れない仕事で
大変だったでしょう
…はい
それは…まぁ
まぁ慣れれば楽になるわ
今日は二人きりだし
ゆっくり湯舟につかって
疲れを癒しなさい？
…はい
…ありがとう
ございます…
それにしても…
お話してるのに
全く目が合わ
ないんだけど
一体どこを
見てるのかしら？
わわわ！あの！
ごめんなさい！
いいのよ
それより早く
脱ぎなさい
あの…本当に一緒に
入らないと
いけないんでしょうか
そうよ
1人ずつ入ったら
時間が足りないのは
事実だもの
わかったら
さっさと脱ぎなさい？
…はい


その…
脱ぎました…
まったく
両手がふさがってたら
お風呂になんて
入れないでしょ
いい加減覚悟を
きめなさい！
わぁ!!
ペロ…
見ないで…
見ないでぇ…
大丈夫よ 男の子が
女の人の裸を見て
おチンチンが
大きくなるのは
自然なことだから
まったく恥ずかしいこと
じゃないわ
だからほら行きましょ？

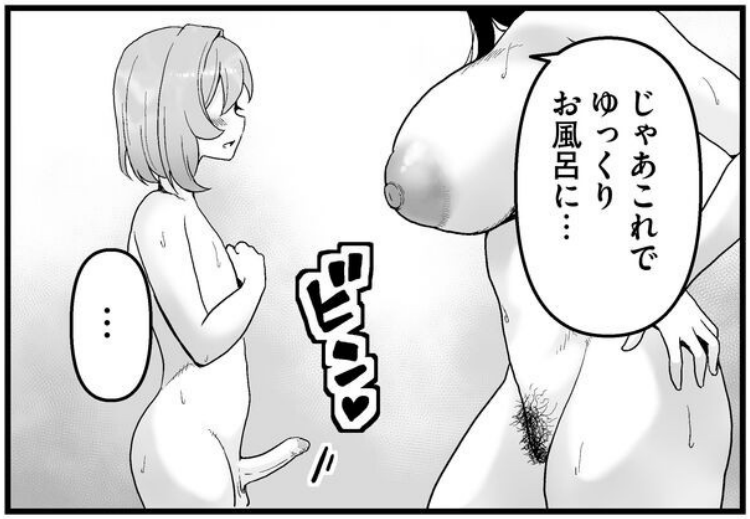

じゃお湯かけるわよ
ザバーッ
クローネさんのおっぱいすごい…おっきい…
ハァ…
ハァ…
体もお湯で濡れてさらにエッチな感じだ…
ビン
ビン
あ…お湯がつたって毛の先っちょから…流れてる
おチンチンさっきからビンビン跳ね回ってすごく元気ね？
あっ…
ツッ…
エッチな気分なのにどうしていいかわからなくてすごくツラいでしょ？
…はい
チンチンが大きくなったときのしずめかた…教えてあげる
ギュッ
わっちょっ…


ほら チンチンが
硬くなってるから
こうやって
手でしごきやすく
なってるでしょ
うあっ…
んっ…
わっ…待って
なんか…変
ふふ♪
もう少しね


あう！ああ！
あっ!!


よくできました
いっぱい出たわね
なに…これ
白い…おしっこ？
なんだか
ネバネバしてる


それは精子
赤ちゃんをつくるのに
必要なものよ
ペロ…
フランツくらいの
年の男の子だと
睾丸にたまって
排出されるようになるわ
ハァ
ハァ…
膀胱におしっこが
たまるみたいにね


じゃあこれで
ゆっくり
お風呂に…
…
ビクン♡


男の人は睾丸に精子が
いっぱいになると精子を
出したくなって
エッチな気分になるの
だからこうやって
定期的に出してあげる
必要があるわ
フランツも
精子を出したおかげで
エッチな気分がおさまって
スッキリしたでしょ？


さすがに一回の
射精じゃ
収まらないか
仕方ない
あと何回か
抜くとしましょう
ふーん…


うっ!!
ドピュ♡


フランちゃん
ボ～…
フーラーン
ちゃん！
ビクッ
…!! わわっ
すいません
いいのよお
もしかして昨日の
疲れ残ってる？
どゅん♡
い…いえ大丈夫です
ちょっとボーッと
してただけで
そーお？
お姉さん心配
だなあ
えと…
そのお庭が綺麗で
見てたんです！
昨日の夜も
そこのベンチで
座って眺めてたんで
そっかあフランちゃん
アウトドア派だねぇ
お姉さんは
お部屋が好きだなあ
日差しもヤだしい
フランちゃんも
若いからって
油断しちゃダメよ？
日焼けはお肌の
大敵なんだから
あはは
気を付けます
しかしこの人…
シュヘルさんの胸は
すごいな…
ゆさっ♡
クローネさんも大きいと
思ったけどそれ以上だ
なんだか昨日のこと
思い出しちゃうよ…


こーら！
さっきから人のおっぱい
ジロジロ見過ぎだぞ！
いや！こ…
これは
違うんです！
な～んてね♪
やっぱフランちゃんも
気になる年頃だよね
成長期だもん
フランちゃんだって
すぐに大きくなるから
大丈夫♪
胸は大きく
ならないです
男なので…


あの…
シュヘルさん
ナニ～？
さっきから
くっつき
すぎでは…？
コミュニケーションだよ～♪
女の子同士なら普通でしょ？


でも不思議だなぁ
な～んかフランちゃん
見てると
ムラムラして
くるのよねぇ
私そっちの趣味は
ないはずなのに
なんでかなぁ
なんでかなぁ？
ギクッ


なんてねっ♪
冗～談♪
びっくりした？
ドキ
ドキ
バレてない…
よね…？


今日も窓ふきか
また昨日みたいに
下から
のぞかれないよう
にしないと
これ
忘れてるよ
あ
すいません
名前は…ドラクナさん
だったか
…さすがにこの人なら
下からのぞかれる
心配ないか
それにしても大きいな…
台に登った僕と
同じくらいだぞ
190以上は
あるんじゃないかな


でも


スラっとしてて
カッコいいし
物静かで
キレイな人だな


…いや
さすがに
物静かすぎだな
沈黙が恐い

きょ 今日は
二人で部屋全体を
お掃除していきます
椅子など軽い家具は
動かしてから
掃除するように
してください

棚の調度品などは
見た目より重い
ものもあるので
気を付けてくださいね

あの～

ビクッ

はいぃ！
なんで
しょうか!?

いや私 新入りですし
年下なので
敬語で話して
いただかなくても

わわっ
そうですよね!?
ごめんなさ…いや
ごめんね？

あ…いや

ガバッ

僕もどちらかというと
気弱なほうだけど
マルカさんは僕以上だな

たはは…

そういえば
フランちゃんは
歓迎会の話聞きまし…
聞いた？

歓迎会？
いいえ

今週末 奥様は
泊りがけの
お出かけなんだけど

奥様から許可をいただいて
屋敷に残ったメイドで
慰労パーティがあるの

へぇ
いいですね

それで今回は
フランちゃんも
いるし歓迎会も合わせて
やりましょうって

わぁ！
嬉しいです！

うん！

ニコッ

来週はいっぱい
楽しもうね♪

チュッ♡

は…はい

この屋敷
綺麗な人も優しい人も
たくさんいるけど

綺麗だけど
威圧感のある人たち

マルカさんは
ちょっと違う感じだな
なんだか威圧感がなくて
親しみやすいというか

このお仕事
最初は不安だったけど
なんだかやっていけ
そうな気がする

♪

フーラーン♪
二日目だしもう慣れたろ？
今日こそ一緒に
風呂入ろうぜ

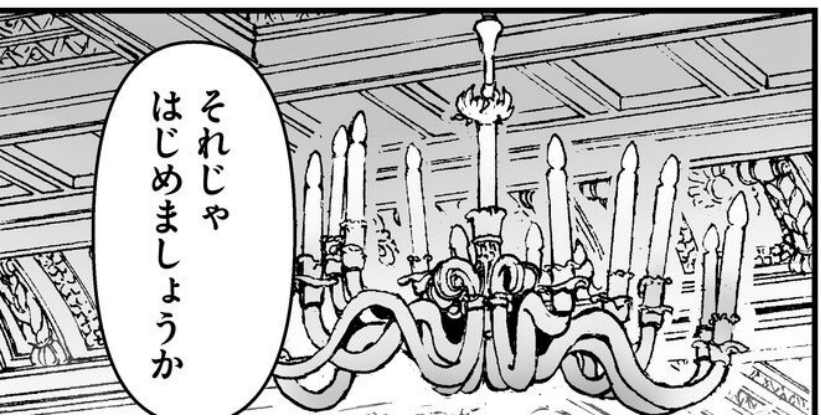
二日で変わる
わけないでしょ
今日も私と入るから

やっぱり
やっていけるか
…不安になってきた


その日以降も
とまどいながら
僕はこの生活を続けた
ジュプ♥
ジュプ♥
えぇ!?
口でしゃぶるって
そんな汚いですよ!?
こういうやり方も
あるのよ
いいから任せなさい
はう!?
ビクン♥
メイドたちの
距離感が近くて
色々大変だったけど
フランちゃん
お肌すべすべ～
羨ましいなぁ
少しずつこの
生活に馴染んでいった
フランちゃんは
どんな男の人が
タイプなの？
むぐっ!?
こっちの方は
なかなか
慣れないけど…
グチュ♥
あぅ！
グチュ♥
そして週末…
ザワ
ザワ


わぁ すごい…！
ワイ
ワイ
ガヤ
ガヤ

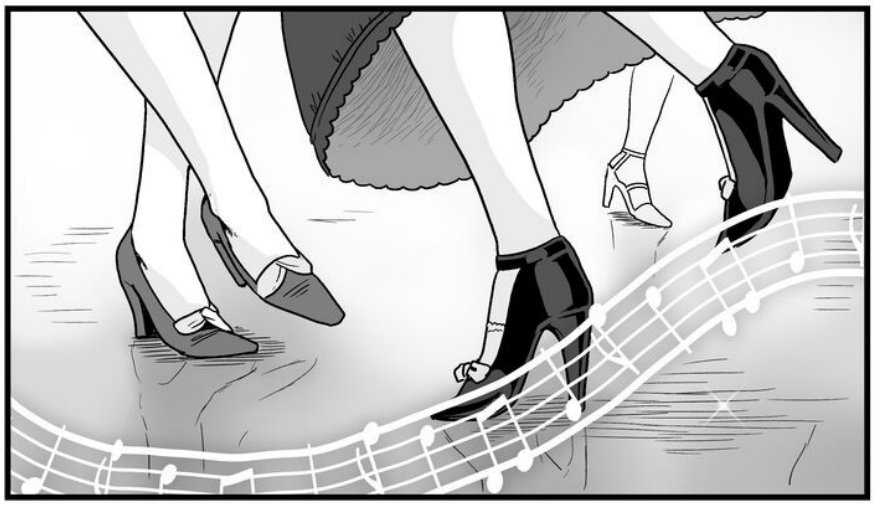

でもクローネさんも
メイド服
みたいですけど
まぁメイド長様
だけあって
仕事人間だもんなあ
こんな日でも
羽目をはずすつもりは
ねえんだろ


それじゃ
はじめましょうか


よぉフラン
せっかくパーティなのに
メイド服か～？
あ…私
ちゃんとした服が
これしかなくて
おーそかそか
今度の休みの日に
服でも買いに行くかー
あはは…



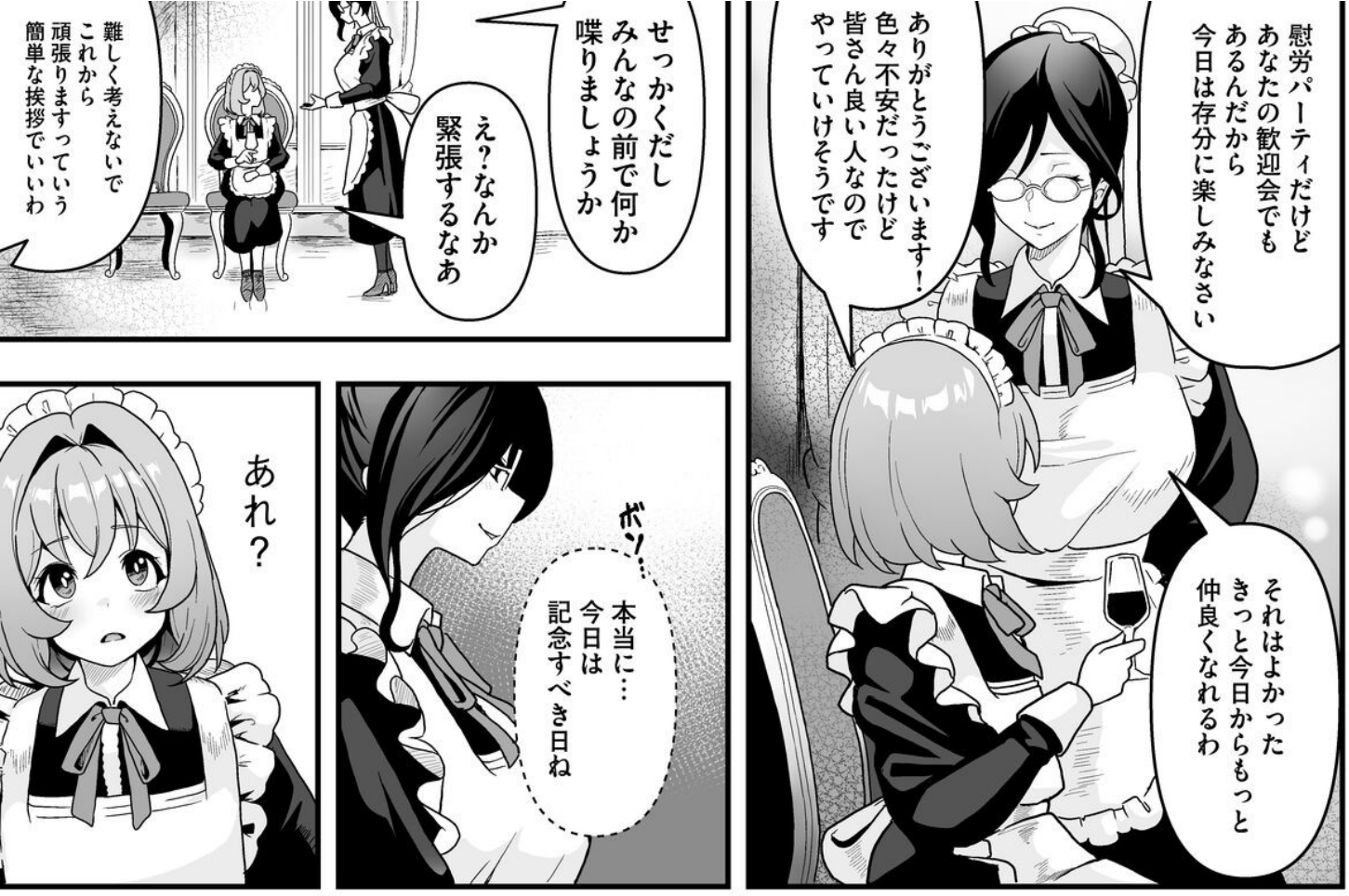







すごいや こんな豪華な
パーティ生まれて
初めてだ…なんだか
貴族になった気分


どう
楽しんでる？
あクローネさん
料理もこのジュースも
美味しいし
すごく楽しいです


慰労パーティだけど
あなたの歓迎会でも
あるんだから
今日は存分に楽しみなさい
ありがとうございます！
色々不安だったけど
皆さん良い人なので
やっていけそうです
それはよかった
きっと今日からもっと
仲良くなれるわ
せっかくだし
みんなの前で何か
喋りましょうか
え？なんか
緊張するなあ
難しく考えないで
これから
頑張りますっていう
簡単な挨拶でいいわ
ボン…
本当に…
今日は
記念すべき日ね
あれ？


クローネさんって
こんな笑い方したっけ…？
ﾆﾔﾘ…


はいはい
みんな注目！
今日の主役から
ご挨拶よ
あっフランちゃんの
挨拶じゃない？
待ってま
したぁ！


すでに一週間一緒に働いたのでみんなは知ってると思うけど
この屋敷で働くことになった新人を紹介するわ
よ よろしくお願いします
きゃ～緊張してるかわいい～
フランちゃん頑張れ～

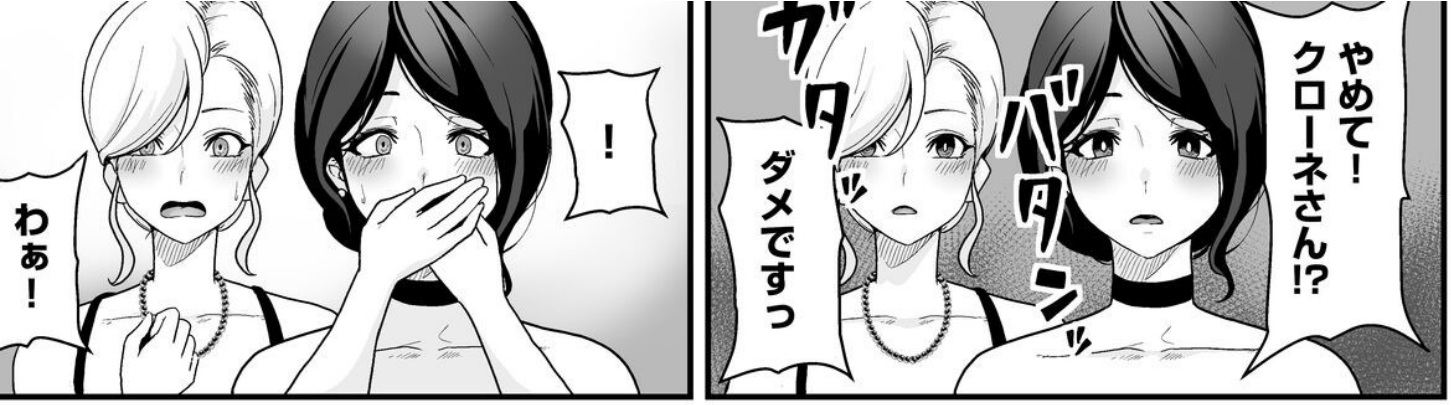

この子の名前はフランツ
ドキ
ドキ
今まで孤児院で育ってきたわ


身よりのない彼にとってこの屋敷は帰るべき我が家
そして住み込みで働く私たちは彼の家族のようなものよ
仲良くしていきましょう
え？
我々は働く仲間であり日々を過ごす家族とても素敵な関係だと思うわ


フランツ？彼？
言い間違いでしょ？
ザワ
ザワ


しかしそれでは衣食住の保証はされてもその他の自由は制限されてしまう
とくに恋愛や性に関する制限はとてもツラいもの
男子禁制のこの屋敷で我々は異性に触れることなく若い時間を浪費していくことになるのか
この問題はあなた達を管理するメイド長として放置しておけない
クローネさん！どういうつもりなの!?
それにさっきから何を言って…！

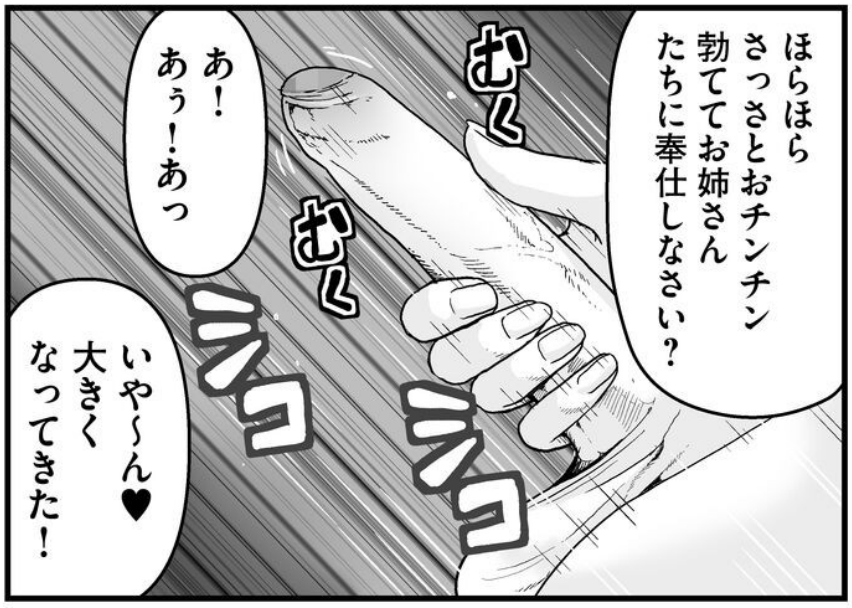

そこで私は考えた
グイッ
え!?


やめて！
クローネさん!?
バタンッ
ガタッ
ダメですっ
！
わぁ！


この屋敷が男子禁制ならば
女の子のように眉目麗しい
少年をメイドとして
招き入れてしまおう
そして
彼には私たちの恋人として
性処理の奴隷として
働いてもらおうと…
ほら 見て…？
私が選び抜いた
最高の少年メイドよ
あ…あう
嘘…!?
男って
チンポが…
ついてる
ペロン♥
全然 気づか
なかった…

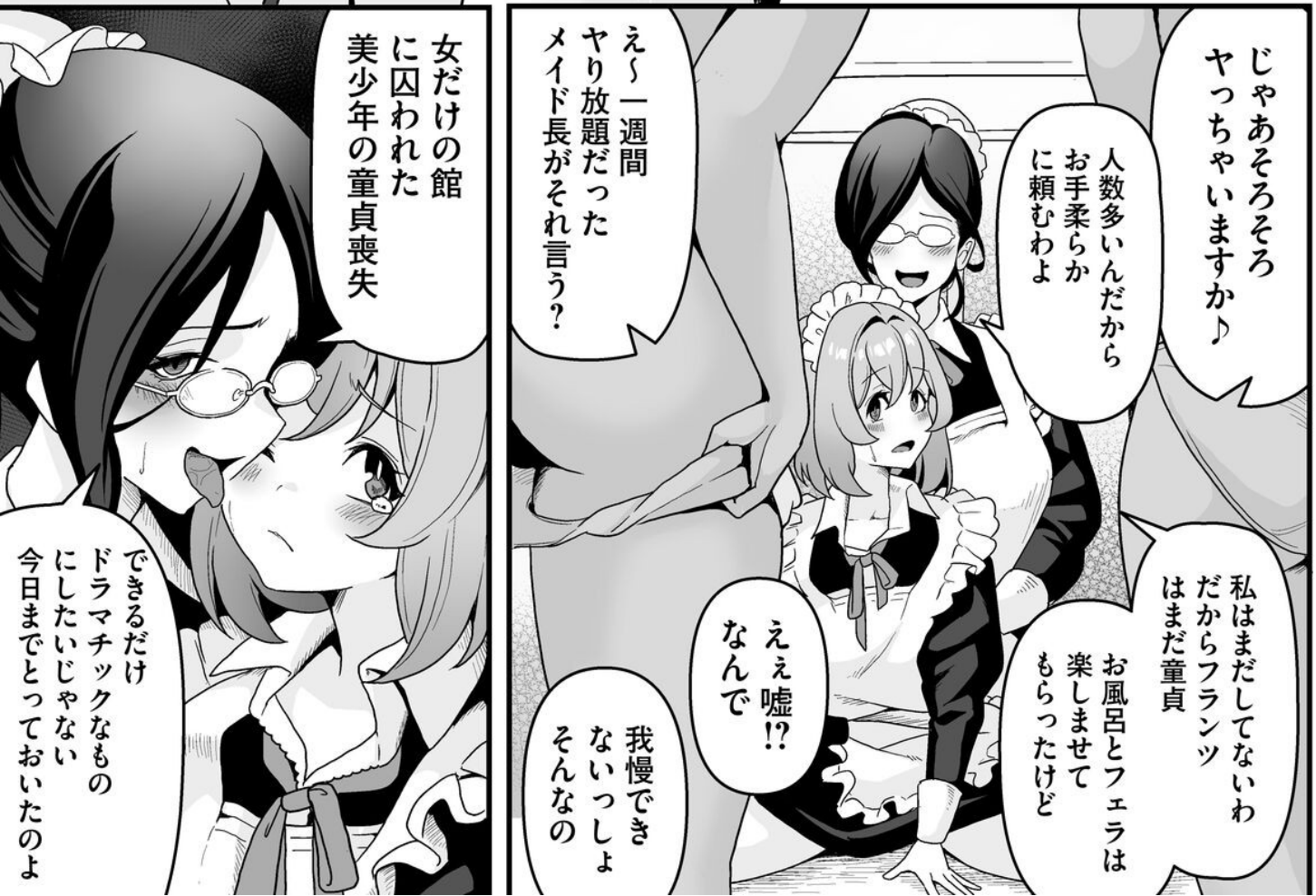

すごい！え？
本物!?本当に
チンチン？
フラン…じゃなかった
フランツが
男の子…ってこと!?
さ触って
いいんだよね？
これ…ね？ね？


もちろん♪
触る しゃぶる 挟む
挿入れる…
好きにしていいわ
なんたって
このチンチンは
私たちのものだもの
やったぁ！
にしても一週間も黙って
独り占めしてズルいぞ！
ふふ♪ごめんね？
男の子だとバレないよう
頑張るフランツを
見たくてイタズラ心が
騒いじゃって


ほらほら
さっさとおチンチン
勃ててお姉さん
たちに奉仕しなさい？
むく
むく
ニヨコ
ニヨコ
あ！
あぅ！あっ
いや～ん♥
大きく
なってきた！


お口で
可愛がって
あげる♥
ちょっと場所とりすぎ
なめるとこ
なくなるじゃん！
しゅごい…
男の子の味がする♥

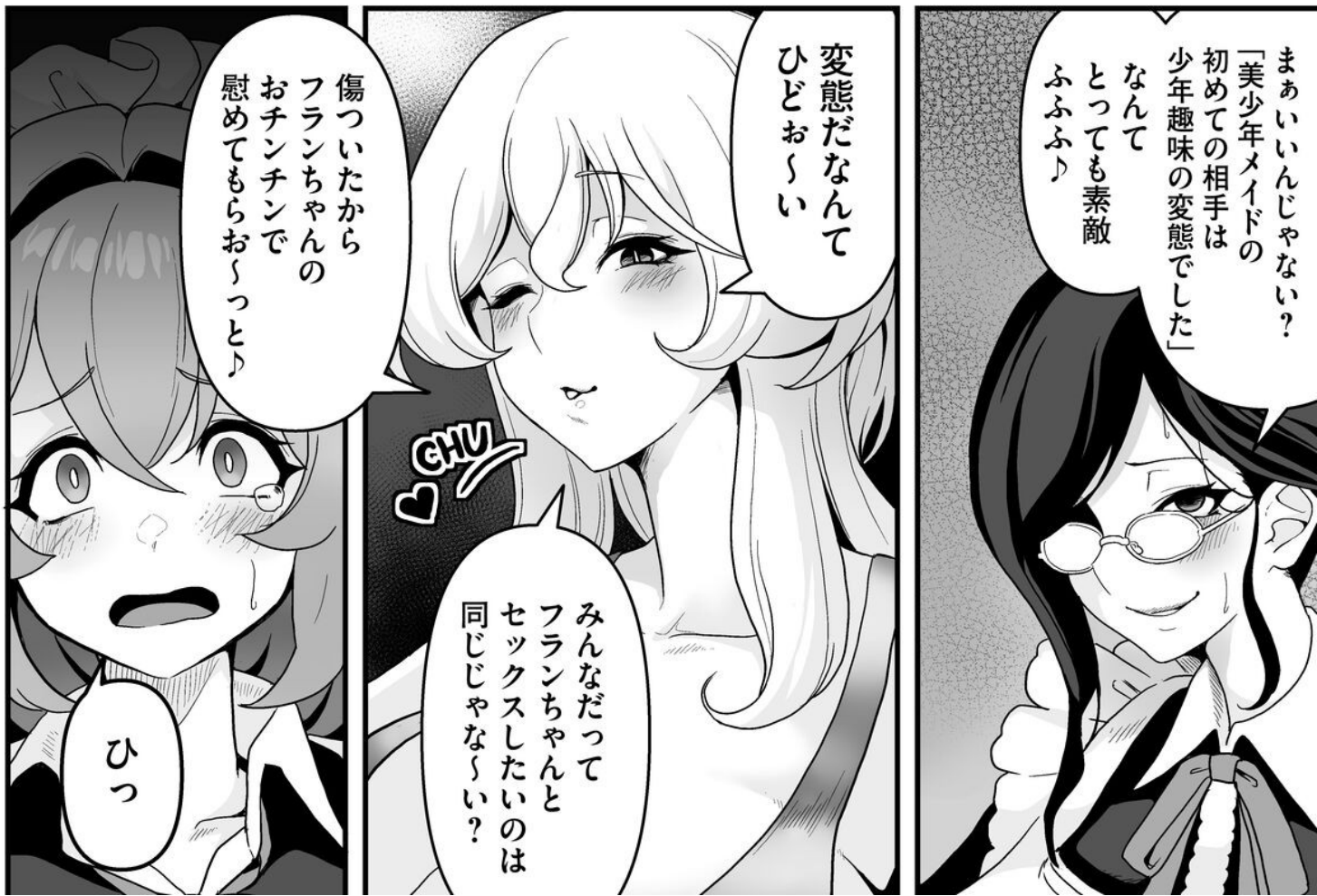

や…あぁ
そんな 三人で
なめたら
すぐ出ちゃ…
ぺろ…
ピチャ…
ピチャ…
ぺろ…
ふあああ！
あう！あ！
うっひゃあ
出た♥
ドピッ
ビュルッ♥
ん…濃ゆ…♥


じゃあそろそろ
ヤっちゃいますか♪
人数多いんだから
お手柔らか
に頼むわよ
私はまだしてないわ
だからフランツ
はまだ童貞
お風呂とフェラは
楽しませて
もらったけど
えぇ嘘!?
なんで
我慢でき
ないっしょ
そんなの
え～一週間
ヤり放題だった
メイド長がそれ言う？
女だけの館
に囚われた
美少年の童貞喪失
できるだけ
ドラマチック なもの
にしたいじゃない
今日までとっておいたのよ


はいはいストップ～
童貞ちゃんだと知ったら
私も黙ってらんないかなぁ
わシュヘル
出たな
初物食い
モンスター

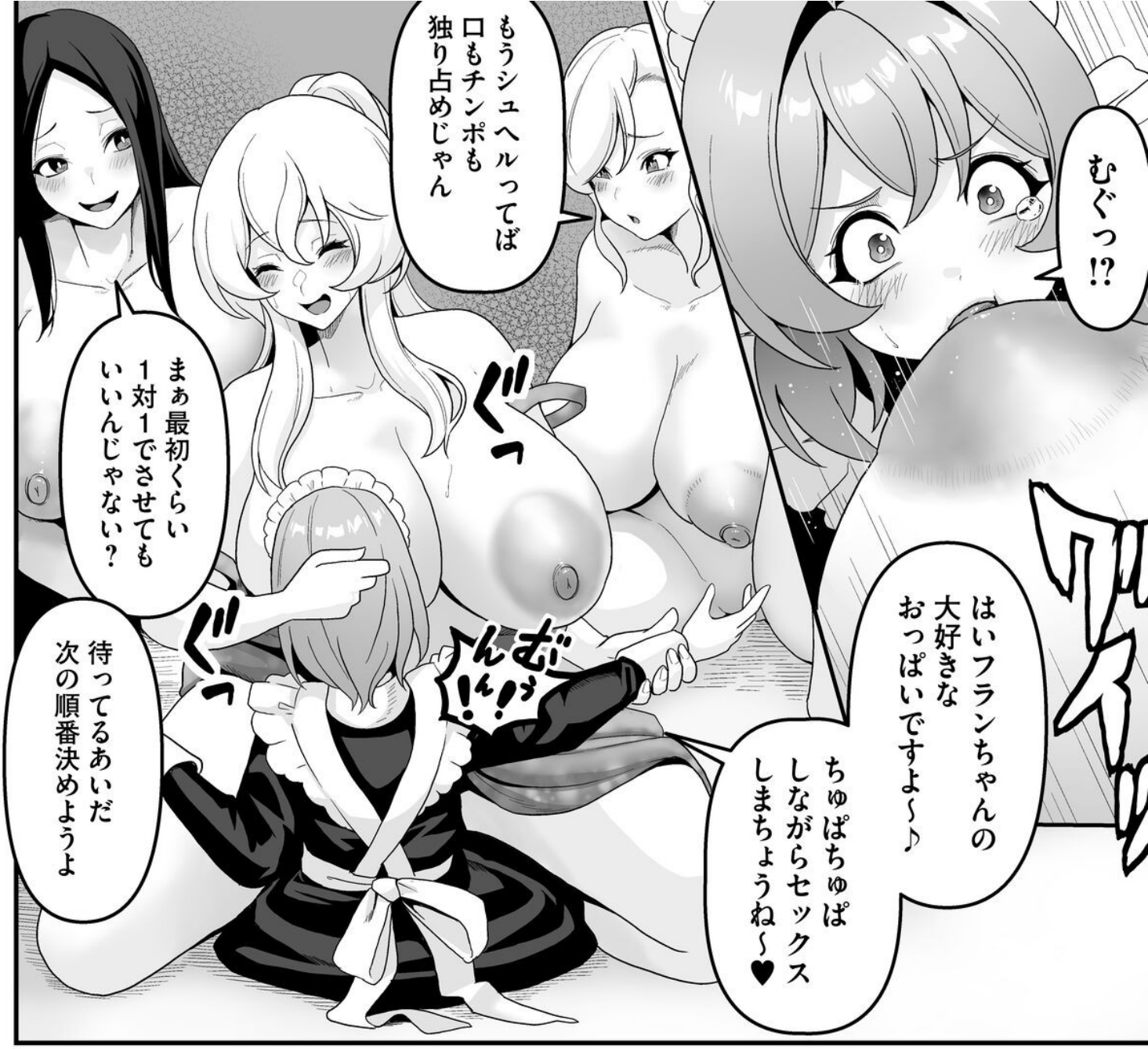

それにねぇ私なんとな～く
フランちゃんが
男の子じゃないかな～って
気づいてたんだぁ
ハァ…
ハァ…
えぇ後出しでしょ
そんなの～
そうだよフランツの
筆おろし
したいからって
適当言って


本当だもん
ね？フランちゃん
前にそんな
話したよね？
うぅ…
女の子は趣味じゃ
ないけどカワイイ
男の子なら
大好物だよ♥


まぁいいんじゃない？
「美少年メイドの
初めての相手は
少年趣味の変態でした」
なんて
とっても素敵
ふふふ♪
変態だなんて
ひどぉ～い
CHU
みんなだって
フランちゃんと
セックスしたいのは
同じじゃな～い？
傷ついたから
フランちゃんの
おチンチンで
慰めてもらお～っと♪
ひっ


えへへ大きいでしょ？
ここのみんなの中で
一番大きいんだよ～
どゆん♥
でもまずはここ
おマンコに注目♥
フランちゃんの
初めてをもらう
場所だよ♪
え…
なにを…？


それじゃあ
初物ショタチンポ
いただきま～す♪
童貞卒業
おめでとう♪
ズッ
ズプッ
ズプッ
ヒャ!?
うわ！あっ…
ヌチュ♥
ヌチュ♥
なに…これぇ
チンチンが中に…
フランちゃんの
初めての大冒険♪
ヌチュ♥
ヌチュ♥
おチンチンは迷わず
膣内を進める
のでしょうか？


むぐっ!?
もうシュヘルってば口もチンポも独り占めじゃん
まぁ最初くらい1対1でさせてもいいんじゃない？
待ってるあいだ次の順番決めようよ
はいフランちゃんの大好きなおっぱいですよ～♪
ちゅぱちゅぱしながらセックスしまちょうね～♥
ぐっ
ぐっ
むんっ!?


んっ♥あっ気持ちいい久しぶりのおチンチン♥
まさかこんな職場でセックスにありつけるなんてっ
ズプッ♥
パンッ
ズプッ♥
パンッ
いいっ♥あっ気持ちいいとこ当たってる
今までのなかで一番相性のいいチンチンかも…♥
ジュプ
あっ♥
あんっ♥
ズッ


んぐ～っ…！
む～っ！…!!
ああ射精そうなのね？
ちょうだい！
精液ちょうだい
少年メイド
チンポミルク！
ビクン
ビクン
ビュルルッ♥
ああっ射精てる！
膣内で
ビクビクしてる！
初物ザーメンが
膣内で溢れてる♥
ぶびゅ
びゅる
ビュルルッ
ゴメンね
フランちゃんっ
初体験の
消えない記憶
変態お姉さんの
マンコで
刻んちゃった♥
先輩と新入りで
生殖器を
交流させるなんて
最高の歓迎会よ～♥

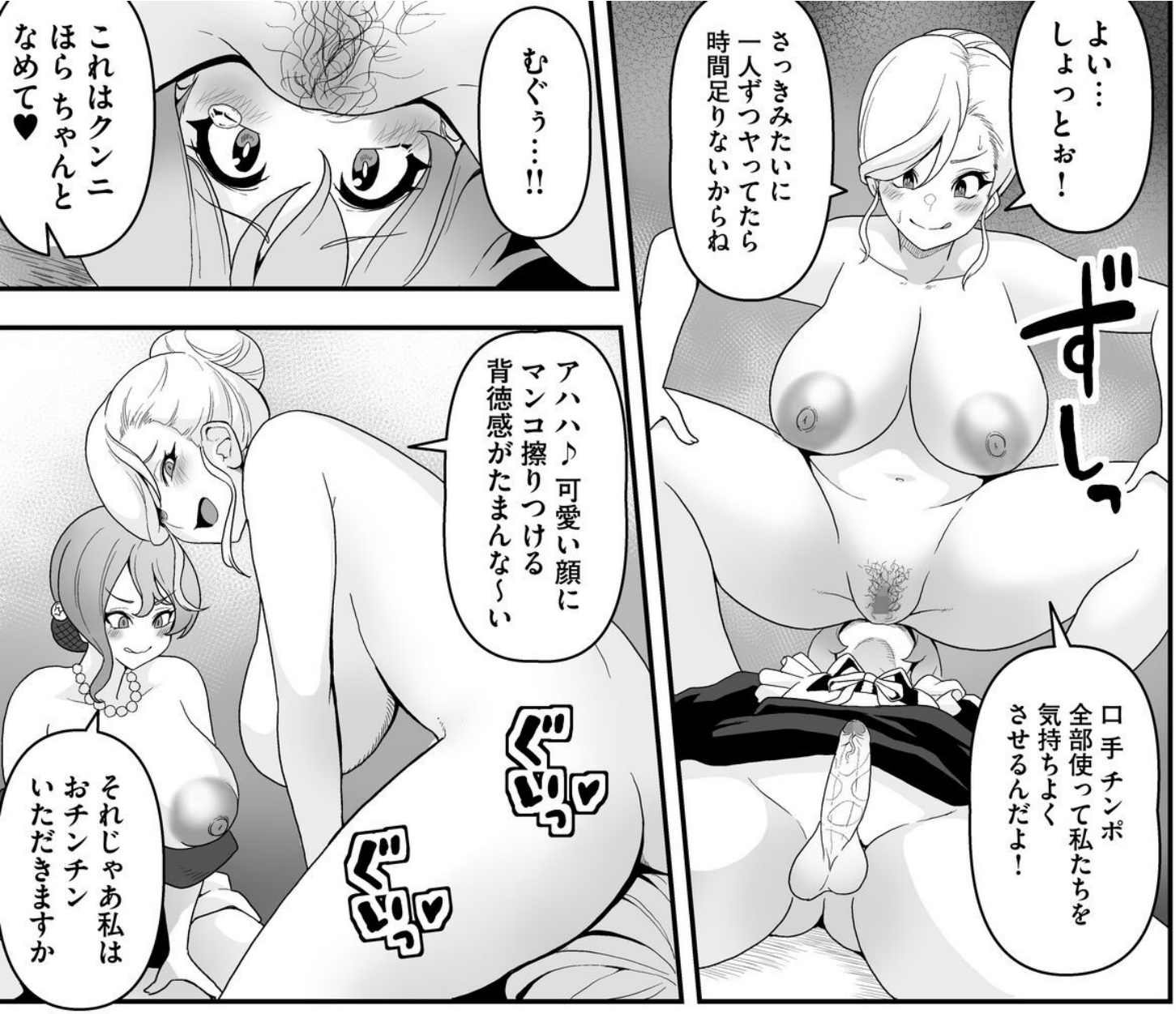

メイド長が用意してくれたエッチな福利厚生 堪能させていただきますか～
あんっ♥
ほらほら余韻に浸ってないでどいてよ何人いると思ってんの？


はぁ…最っっ高…♥
ハァ
ハァ


ぶるん♡
フーラーンッ♪なに惚けてんの？歓迎のパーティーはまだまだこれからだぞ
最初ってことで手加減したけど今度は一度にたくさんのメイドたちを満足させてもらうよ～♪


フェラ一回膣内射精一回だけどまだまだ余裕そうでなによりン♪
ビクッ♡
やっぱ若さは大事ねこれくらいで萎えちゃ話にならないもの


はっ…
はっ…
え…？


よい…
しょっとぉ！
さっきみたいに
一人ずつヤってたら
時間足りないからね
ずしっ
口手 チンポ
全部使って私たちを
気持ちよく
させるんだよ！
むぐぅ…!!
これはクンニ
ほら ちゃんと
なめて♥
アハハ♪ 可愛い顔に
マンコ擦りつける
背徳感がたまんな～い
ぐりっ♥
ぐりっ♥
それじゃあ私は
おチンチン
いただきますか

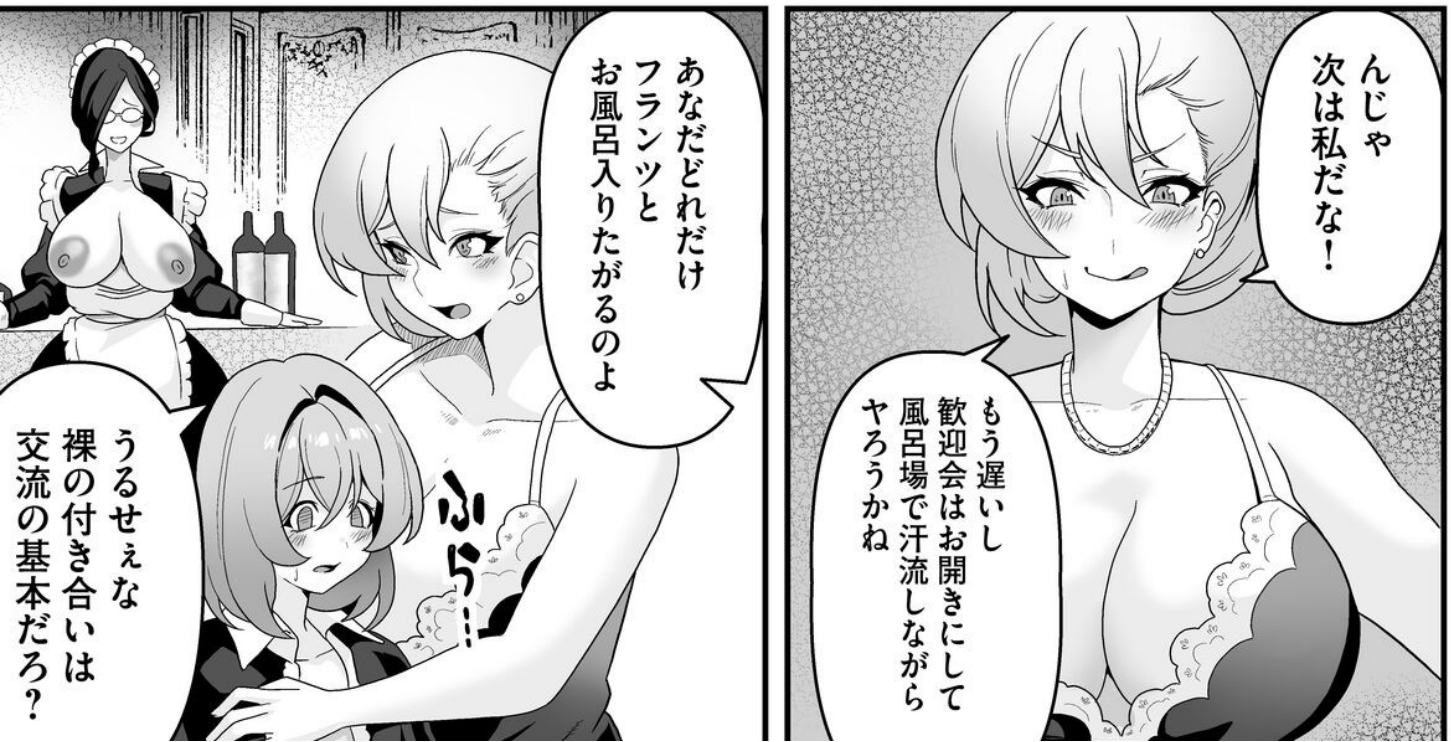

いいねぇ
乱交パーティーっぽく
なってきたんじゃない？
ハハッ♪
どんな歓迎よ～？
何言ってんの
歓迎パーティー
でしょ？
あんっ♥
新人のおチンチンを
先輩たちのマンコで
歓迎してるじゃん？
あっ♥
なるほどねぇ！
ズッ
ビクンッ
むんっ!!
ジュプ


すごい…
みんな一心不乱に
フランツを犯してる
ぬちゃっ♥
ズチュ
グチュ
男子禁制の屋敷で
性欲をもてあます
メイドたち
くちゃっ♥
そして…
そんな雌の獣たちの前に
放り出された孤児の少年
激しくて…淫らで
なんて美しいのでしょう
この一週間
フランツを目の前に
私も我慢の限界が
きたときはあったけど


待った甲斐があった
あの表情…
カリッ
パコ
パコ
ぷるん
動くの疲れちゃった？
お姉さんたちが
手伝ってあげる♥


自分の居場所を
見つけたという喜び
それを裏切られた悲しみ
初めての性行為の快楽
全ての感情が混ざりあった
あの…表情
ビクッ
キュン♥
んあっ…♥


ふぃ～
ひとやすみ♪
まだヤってない人
いる～？
そりゃいっぱい
いるでしょ
まだ10人くらいとしか
ヤってないし
アハハ！そっか♪
大変だねフランツも
はぁ♥
はぁ♥
はぁ♥
あっ…
うっ…
ピクッ
ピクッ


んじゃ
次は私だな！
もう遅いし
歓迎会はお開きにして
風呂場で汗流しながら
ヤろうかね
あなだどれだけ
フランツと
お風呂入りたがるのよ
うるせぇな
裸の付き合いは
交流の基本だろ？
ふら!!


パンッ
パンッ
ほらほら
どうしたぁ？
先輩へのご奉仕が
足りないぞ
フランツのお掃除棒で
先輩のマンコ
綺麗にして
もらうからなあ!?
うふふ♪
怖い先輩ねぇ
あっ♥
あっ♥


うおっ…♥
くっ…ふっ♥
おいおい～
綺麗にするどころか
逆に汚して
どうすんだよ？
ブリッ
ブリッ
じゃあ私はお股のブラシで
フランツちゃんのお顔
お掃除してあげよ～っと♥
キャハハ♪
なんかベタベタしたの
ついて逆に
汚れてな～い？
ショリ
ショリ
んっ…♥
天然の
ローションだよ！


すいませ～ん
私にもメイドミルク
一つくださいなっ
ビクッッ
ほらほら
ミルクが薄いぞ！
もっと気合入れろよぉ？
ドビュッ
さすがに射精
しすぎたかな？
あっ硬さは
まだ大丈夫そう
ビュッ
ビュッ
あっあっ
出ちゃ…う！
やっ
あぁっ!!
ビュルッ
ビュッブ
ドクン

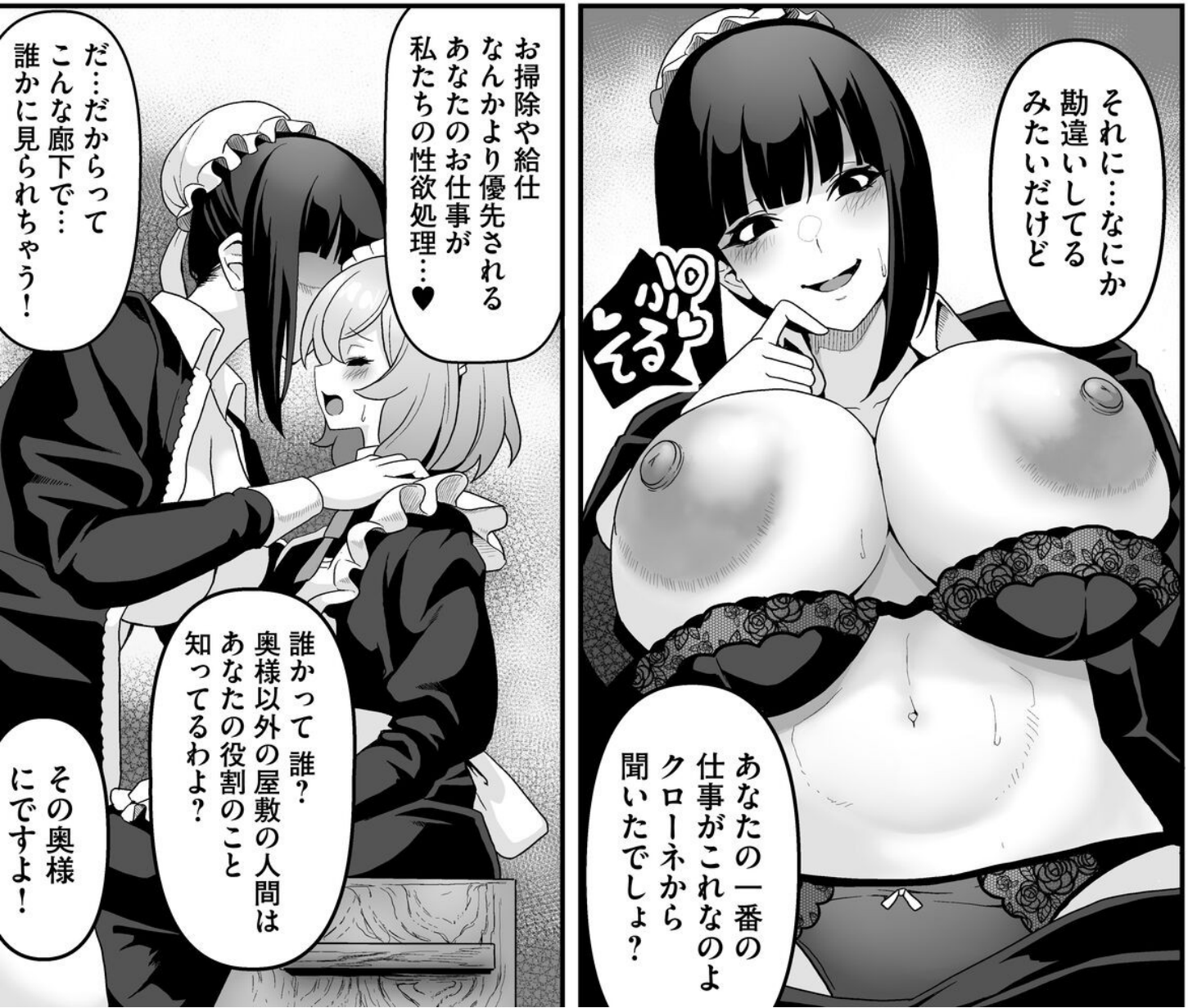

ピクッッ
…あ
…う
ふぃ～おっ疲れ様ぁ♪
ってフランツ
失神しちゃってるじゃん
今日はハード
だったからねぇ
まぁ明日以降もハードに
なるんだろうけど
ピクッッ


うぅ股間から鈍痛がする
昨日のことは——
夢じゃなかったんだな…
あら おはよう
フランツ
え…あ
おはよう
ございます
話を聞いて驚いたわ
こうして見ると
男の子なんて
信じられないわね
あ…あはは
私 昨日は奥様の
お供でお屋敷に
いなかったのよ
気づかなかった?
すいません…
昨日は色々…
大変だったので
ふふ♪
まぁそうよね
仕方ないわ
なんだろう
ドラクナさんって
こんな喋る人
じゃなかったよね?
まるで別人だ


うぅ まさか
こんなこと
になるなんて
でも今さら
ここ以外に行く
あてなんてないし
♥


まさか僕が男だって
わかったから…?
いくらなんでも
お仕事中に襲われ
たりはしないよね…?
ギッ


ひゃっ!?
ぐりっ
ドラクナさん!?
何して…?
すごい…
本当におチンチン
ついてるのね
ダメですよ!
今お仕事中
なのに
お仕事中
じゃなければ
いいんだ?
一日ですっかり
淫乱に
なったわね?
違…それは…!


それに…なにか
勘違いしてる
みたいだけど
ぷるるん
あなたの一番の
仕事がこれなのよ
クローネから
聞いたでしょ?
お掃除や給仕
なんかより優先される
あなたのお仕事が
私たちの性欲処理…♥
だ…だからって
こんな廊下で…
誰かに見られちゃう!
誰かって誰?
奥様以外の屋敷の人間は
あなたの役割のこと
知ってるわよ?
その奥様
にですよ!


こんな屋敷の端なんかに奥様が来るわけないわよ
あっ！
ズサッ
さすがにこれだけ体格差があるとヤりづらいわねぐぐっ
え…？

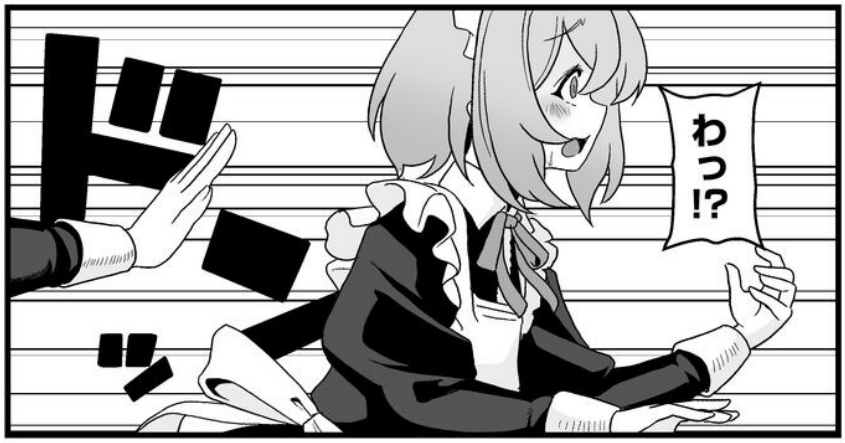

やっぱり…んっふぅ…これがベストね！
やっ！ああ！
ふふ♥女の子みたいに犯される気分はどう？
ヂュプ♥
グチュ♥
グチュ♥
ヂュプ♥
ぬちゃ♥
やだ！こんな体勢！恥ずかしいよ！
パン
パン
誰も見てないんだからいいでしょ？それにすごく似合ってるわよ？
…あらふふふ♪


庭に奥様がいるわ
今はお昼の
ティータイムね
そんな！
見つかりますよ！
今すぐやめましょう
ふふっ…逆よ
奥様が見えるってことは
ここにくる心配が
ないっ…てことじゃない
それにしても
まさか自分の
屋敷に男がいて
しかもメイドたちと
セックス三昧なんて
夢にも思わない
でしょうね♪
ドラクナさん
僕…もう
出ちゃ…
ビクンッ
ドクッ
…っちょうど
私も…イけそうだわ
…もう少し…
んっ♥
んぐっ…っふ！
あ…♥
ビクンッ
ふぅ…まさか
仕事中に性欲処理
できる日が
くるとはね
ほら終わったら
窓ふきの続き
はじめるわよ
ひゃい…
あっ…やっ
あっ…




ひどいめにあった
まさか仕事中に
あんな事されるなんて
きゅっ


次の仕事は
マルカさんと
部屋の掃除か…
優しいマルカさんなら
きっとあんなことは
しないはず


ドン
わっ!?


ドサッ
痛っ…!


え?え?
えへへ
フランツくん♥
やっと二人きりに
なれた…


私ね？
引っ込み思案だから
昨日はみんなと
混じれなかったの
だから…
きょ 今日が初めての
フランツくんと
セ…セックスだよ？
そんな…マルカさんは
こんなことしないと
思ってたのに…！
ぶるん♡
こんなことって何？
私だって
性欲はあるもん
フランツくんだって
口ではそう言ってるけど
嫌じゃないでしょ？


じゃないと…
おチンチンが
こんな大きくなる
わけないじゃない
このとき僕に
逃げ場はないんだとわかった
この屋敷のメイド全員が
僕を狙っている
しゅご…♥
しゅごい！これが
セセ セックス！
ジュプ
ズッ
ぬちゅ
くちゅ
そして…
そのメイドたちの
相手をするのが
僕の仕事なんだと…


その日から僕は
昼も夜もなく
メイドたちの相手を
することになった
ねぇ早く～
いつまで人に
銀器磨きさせるのよ
私もそっち
磨きたいんだけど
まぁまぁチンポは
丁寧に磨か
ないとでしょ？
ほらほら
自分でもちゃんと
動かないとダメよ？
これがあなたの
仕事なんだから
ジュプ
ジュプ
あっ待っ…
出ちゃ…！


ホウキや布巾を持つ時間は
ほとんどなくなった
僕自身はもうメイドでは
ないんだろう
豪華なベッドの
うえでヤれる
なんて贅沢ね～
奥様のベッドの
上でなんてバレたら
怒られちゃいますよ！
いいんだよ
元々シーツ替え
にきたんだから
まぁ…男だし
はじめからメイドでは
なかったのかも
しれないけれど…
パンッ
パンッ


そして…
ついに
今日は二人で
この部屋の
お掃除よ
他の仕事もすんでるし
時間かけてのんびり
やっても構わないわ
私の言ってる意味…
わかるでしょ？
…はい


ヌチュ…
ん…♥
チュパ…
んぷ…♥
じゅる…
ちゅ…
んふ…♥
おいひ…
この生活は慣れた？
…すいません…あんまり
セックスは嫌い？
嫌い…というより恥ずかしいですそれにこれだけ人数が多いと…
まだ性欲より羞恥心が勝っちゃう年頃だからね
でもね？
ぷるん♥
いずれセックスがたまらなく好きになるわ
そしてこの生活も…
フランツ…身よりがなくてまだ子供のあなたをとりまく環境は厳しいわ
ここを出て行ってもツラい生活をおくることになるかもしれない
最悪…生きていくこともままならないかもしれない
あなたもそれがわかっているからここから逃げられないのでしょう？


さぁ…
あなたのお仕事
はじめましょうか
ふふ♪
この先フランの
おチンチンは
どれだけ私たちの
あそこを出入りする
のかしらね？


くっ…ふぅ
やっぱり…いいわね
この…感触♥
はぁ…女装した
少年とのセックス♥
男子禁制の館で！
少年と一人の女が
互いに体を
貪り合う！
孤児のあなたは
幸せを手に入れた！
そう！あなたは
私たちという
家族を得た！
この倒錯した環境が…
さらに私の体を
…熟く…ん♥
いいわ…すごく！
フランツ！
あなたもでしょ!?


住まいも…食事も
そして…性も！
今 あなたの生活は
全てが満たされ
てるのよ！
ズリ
ズリ
これ以上の幸せな
生活はないの！
ああ…
快楽に
溺れなさい
フランツ！


不思議な気分だ…
おチンチンが出たり…
入ったり…とても気持ちよくて
頭がボーッとする…
だからかな
クローネさんの言葉が
本当にその通りに
思えてくる
いや…実際に僕は
幸せなんだ
だってこんなに
気持ちいいんだもん


…！
キュッ♥
キュン♥
あっあう！
クローネさん！
ビクッ
ビクッ
ビクッッ
ふふ♪
射精そうなのね？
パン
パン
じゃあ
そろそろ…一緒に
気持ちよくなり
ましょうか
あっ♥
く…はぁ♥
あっイっ！
くぅ♥
ドピュ
ビュルッ♥
ビュルッ♥
ビュビュッ
んあっ
ああ!!


ハァ…
ハァ…
…気持ちよかったねぇフランツ♥
ハァ…
…はい
どう？セックスも楽しくなってきたんじゃない？
……はい
ふふ♪夜にまた続きをしましょうか
やっぱりフランツを選んでよかった…私 フランツのこと好きよ？
…僕も…です
…はい
ここは女帝の館
そして僕はこの館に囚われたった一人の男
きっと僕はこの先もずっとメイドたちの相手をしていくのだろう

